ISSN 0289-6850

BULLETIN OF KOKUSAI GAKUIN SAITAMA COLLEGE

# 研 究 紀 要

第37号

2016

国際学院埼玉短期大学

# 国際学院埼玉短期大学研究紀要

第37号　平成28年３月

## 目　　次

原著論文
栄養教諭実習生の実習に対する現状と課題…… 秋山佳代・古俣智江・野原健吾・福田馨 …… 1
研究ノート
保育者養成における不本意学生について…… 大橋伸次・野尻美枝・西田咲希 …… 7
短期大学生におけるMicrosoft Office2010に関するコマンドの理解について…… 中平浩介 …… 19
クッキーレシピの標準化に関する研究　－砂糖配合比の変化がクッキーの膨化に与える影響－
…… 平井友海・藤井茂・栁田亜美・野原健吾 …… 25
報告
保育者養成系短期大学におけるキャリア教育のカリキュラム開発・実践・評価に関する研究（２）
…… 森下剛・古木竜太・西田咲希 …… 31
調査・資料
産官学連携の報告～「2014ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」応援がもたらしたもの
…… 塩原明世・古俣智江・武藤隆・野原健吾 …… 43
研究業績…… 49
投稿規程…… 52

**原著論文**

# 栄養教諭実習生の実習に対する現状と課題

# Current status and challenges for the practice of nutrition teacher trainees

秋　山　佳　代・古　俣　智　江・野　原　健　吾・福　田　　馨

社会環境の変化とともに食生活の多様化が進み，健康にまつわる諸問題が生じてきている。心身ともに健康で過ごすのに必要な自己管理能力や望ましい食習慣を子どもたちに身につけさせるため，栄養教諭制度が平成17年度より施行された。教育実習を通して栄養教諭の資質に必要な能力を身につけるためには，大学での事前事後学習が重要であることが考えられる。そこで本研究では，栄養教諭教育実習生15名を対象に自記式質問紙調査を実施し，より効果的な実習を行う対応策について検討することを目的とした。実習校に栄養教諭が配置されていた学校は約３割であり，「食に関する指導」を実施していた学校は約３割であった。栄養教諭教育実習で大変だった内容は，授業の進め方が約７割，児童生徒との接し方については約３割であった。より効果的に食育を推進するには栄養教諭が中心的な役割を担うことが重要であり，指導力を備えた上で積極的に食育に関わることが期待される。

キーワード：栄養教諭，食に関する指導，教育実習，実習生

## Ⅰ．はじめに

現在，社会環境の変化とともに食生活の多様化が進み，健康にまつわる諸問題が生じてきている。心身ともに成長する大切な時期である子どもにとって，適切な栄養摂取をするための食事環境は非常に重要であるが，朝食欠食，孤食，肥満ややせなどの問題が指摘されている。

朝食を「必ず毎日食べる」児童生徒は，小学校全体で90.5％，中学校全体で86.6％であり，平成19年度調査と比較すると小，中学校ともに，男子の「ほとんど食べない」が増加している[1)]。また，第二次食育推進基本計画において，朝食欠食する子どもの割合についてその目標値を０％としているが，計画策定時では1.6％であり，平成27年では1.5％と微減しているものの，目標値には到達していない[2)]。朝食を「一人で食べる」児童生徒は，小学校男子16.8％，小学校女子13.8％，中学校男子34.0％，中学校女子33.5％で，小学校よりも中学校の方が高く，「家族そろって食べる」「おとなの家族の誰かと食べる」児童生徒は，小学校では 50%を超えるが，中学校は50%に満たない。平成19 年度調査と比較すると，小中学校ともに，「家族そろって食べる」の割合は減少した[1)]。また，夕食については，「家族そろって食べる」または「おとなの家族の誰かと食べる」は，小学校全体89.1％，中学校全体84.8％，「一人で食べる」は，中学校男子が最も多く，7.0％であった。平成19年度調査と比較すると，「家族そろって食べる」割合が，小中学校ともに増加した[1)]。そこで，文部科学省では，子どもたちの朝食欠食による栄養の偏りや，共食など食事の環境を整えることで，心身ともに健康で過ごすのに必要な自己管理能力や望ましい食習慣を子どもたちに身につけさせるため，学校における食育の推進に中核的な役割を担う栄養教諭制度を平成17年度より施行した[3)]。

栄養教諭免許状取得のための基礎資格としては，大学における教員養成の基本原則を踏まえ，専修免許状については修士の学位（大学院修士課程修了程度），一種免許状については学士の学位（大学卒業程度），二種免許状については準学士の称号（短期大学卒業程度）を有することを原則とすることが必要と考えられている[4)]。本学では二種免許状取得の養成をしており，そのための基礎資格として栄養士の免許の取得を求めることで，栄養士養成のための教育課程と同程度の内容・単位数を修得することとしている[4)]。いずれの免許状の取得においても，食に関する課題を踏まえ，栄

養教諭としての使命や職務内容について理解を深めることが必要である[4)]。また，栄養教諭二種免許取得のためには，校外における一週間の教育実習を行っている。栄養教諭の教育実習を実施するにあたり，実習校に栄養教諭が配置されている必要はない。実際に，本学で教育実習を実施している実習校のうち，栄養教諭が配置されているのは全体の半数以下であり，栄養士が配置されていない実習校もある。このように栄養教諭教育実習の受け入れ態勢が異なるにも関わらず，教育実習を通して栄養教諭の資質に必要な能力を身につけるためには，大学での事前事後学習が重要であることが考えられる。

## Ⅱ．目的

本研究では，栄養教諭教育実習生が実習を行うに際し，実習校の栄養教諭の配置状況の実態，またその違いによる食育活動の取り組み状況，さらに栄養教諭教育実習生が事前準備に必要な事柄について現状と課題を把握し，より効果的な栄養教諭教育実習を行うことを目的に検討を行う。これにより，栄養教諭教育実習生および実習生を受け入れる実習校の相互においてより効果的な実習が行えるような体制を整備することの一助とする。

## Ⅲ．方法

自記式質問紙調査を実施し，その結果について分析を行った。対象は，短期大学に在学中で栄養教諭二種免許取得のための教育実習を終えた学生15名とした。栄養教諭関連の授業終了時にアンケート用紙を配布し，記録後にその場で回収した。平成26年10月に実施した。

## Ⅳ．結果

（1）食育を受けた経験

調査対象学生が食育関連の授業を受けた経験については，受けたことがある者は約5割であった（図1）。その内容としては，校外における農業体験，家庭科の時間，給食の時間に多かった。

また，対象学生が小中学生だった頃の学校に，栄養教諭もしくは栄養士が配置されていたかについて，栄養士が配置されていた学校は約5割であり，栄養教諭が配置されていたのは約1割程度と少数であり，どちらもいない学校は全体の約3割にみられた（図2）。

（2）実習校における栄養教諭・栄養士配置状況

実習校における栄養教諭・栄養士の配置状況について，栄養教諭が配置されていた学校は約3割，栄養士が配置されていた学校は約4割で，その他の学校ではどちらも配属されていなかった（図3）。

（3）実習校における「食に関する指導」の実施状況について

実習校における「食に関する指導」については，実際に実施されていた学校は約3割，実施されていなかった学校は約7割であった（図4）。また，実習校における栄養教諭もしくは栄養士の役割については，給食をはじめとする食に関する事において中心的な役割を担っている，食物アレルギーに対する対応，正しい食生活を身につけてもらうために必要である，と捉えている者が多く，やりがいはあるが業務の大変さを感じたという意見がみられた。

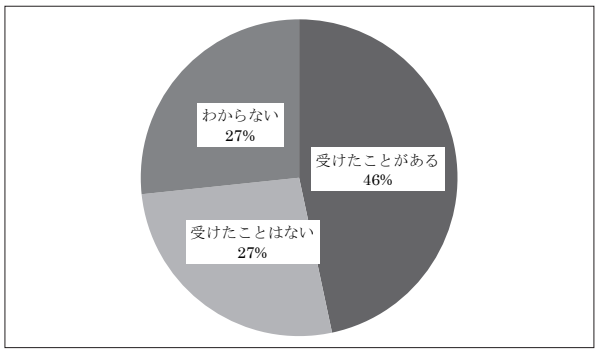



**図1　小中学生のときに**
**食育の授業を受けたことがあるか**

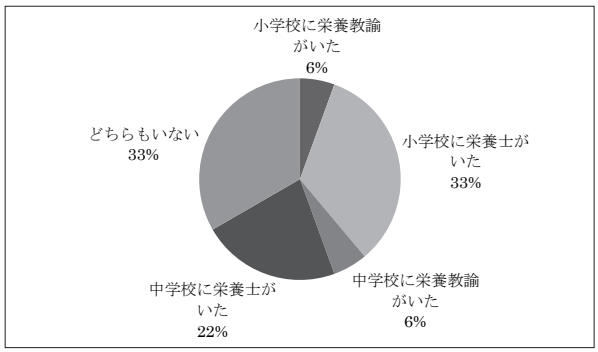



**図2　小中学生のときに**
**学校に栄養士・栄養教諭がいたか**

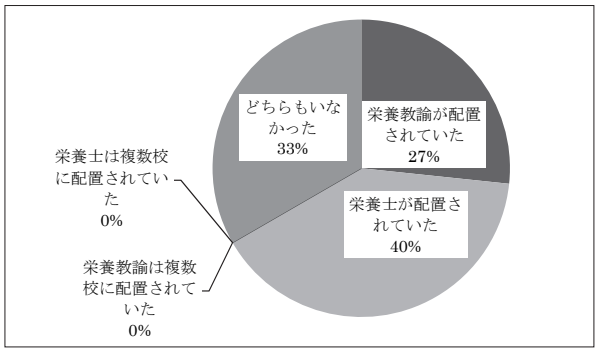



**図３　実習校の栄養士・栄養教諭配置状況**

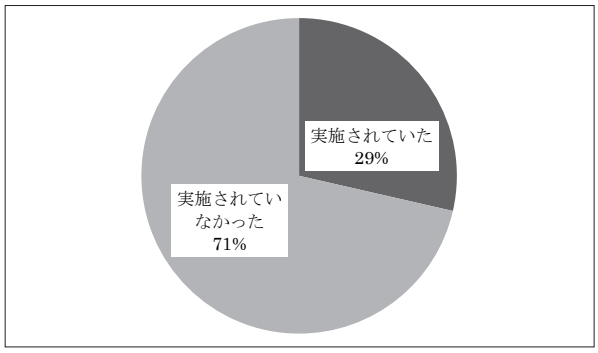



**図４　「食に関する指導」実施状況**

（４）栄養教諭教育実習について

栄養教諭教育実習を通して学んだことについては，食に関して指導を行うにあたり，子どもたちとの関わり方が大切であることや，指導するには食に関する知識を十分に備える必要があることを認識したという意見がみられた。また，栄養教諭教育実習で大変だった意見として，授業の進め方が約７割，児童生徒との接し方について約３割であった。

栄養教諭教育実習を通して良かったことについては，食育の実際について知ることができた，児童生徒との接し方を学ぶことができた，授業の方法を学ぶことができた，食について教えることができた，といった意見がみられた。一方，栄養教諭教育実習を通して良くなかったことについては，主に研究授業に関することが多く，時間をかけて準備を進めることが必要であったことが挙げられた。

栄養教諭教育実習を受けるにあたり必要なことは，栄養に関する専門知識，指導方法，児童生徒との接し方，コミュニケーション能力という意見が多くみられた。

（５）栄養教諭の必要性について

栄養教諭は必要だと思うかの問いについては，ほぼ全員がそう思うという回答であったが，わからないという少数意見もあった（図５）。栄養教諭が必要だと思う理由については，食育の専門家として子どもたちに正しい食生活を指導する重要性や，家庭で十分に食育が行われていないこと，また子どもたちの健康問題として肥満の増加などが挙げられた。一方，栄養教諭の必要性がわからないことについては，栄養教諭制度が導入されてからあまり時間が経っていないこともあり，必要かどうか判断できないという理由であった。

栄養教諭に将来なりたいかについては，「なりたい」という回答は８割，「わからない」という回答は２割であった。

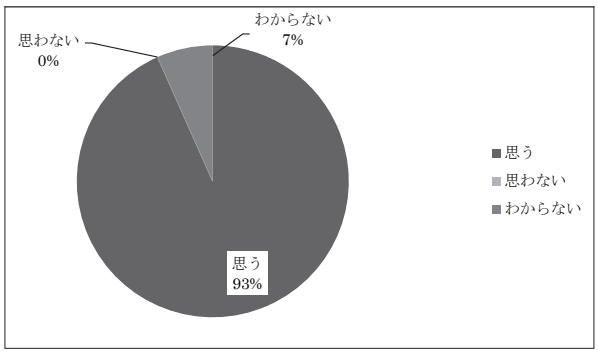



**図５　栄養教諭の必要性について**

## Ⅴ．考察

栄養教諭制度が創設されて以来，各都道府県において栄養教諭の配置が進められている。本研究の対象学生が小学校中学年頃だった平成17年から栄養教諭が配置され，対象学生のうち小中学校に栄養教諭が配置されていた者が約１割程度みられた。栄養教諭制度が創設されて以来，10年程度が経過したが，当初と比べて栄養教諭の配置状況が増加した都道府県がほとんどであるが，その増加速度は異なる。埼玉県では，平成18年度では５名配置されていたが，平成27年度では207名にまで増加している[5)]。

本研究の対象学生が実習を行った小中学校では，約５割程度の学校において食育の授業を設けているということだが，栄養教諭・栄養士が配置されていた小中学校が対象者の半数ほどであることからもうかがえることから，栄養の専門職が配置されている学校では食育が行われていたことが推測される。小中学校で食育の授業を受けた経験は，食育に対してさまざまなメリットがある。例を挙げると，栄養教諭や学校栄養職員など栄養に関する専門職が小中学校に配置されることにより，学校ごとの工夫を生かした給食の提供，食に

関する指導の充実，適温給食の提供，食物アレルギーを有する児童生徒への対応，地元農家から食材を購入，調理担当者が身近になり食に対する感謝の気持ち等をはぐくむことができるといったメリットがあり，食育の効果が期待できる[6]。このことから，埼玉県さいたま市においては，平成27年７月１日よりすべての市立小・中学校の給食が自校方式となり，栄養教諭・学校栄養職員が配置されることになり，政令指定都市ではさいたま市だけである[6]。

実習校における栄養教諭・栄養士の配置状況について，今回の調査では栄養教諭が配置されていた学校は約３割，栄養士が配置されていた学校は約４割であった。他大学の実習状況においても，実習校に栄養教諭が在籍していた学校は約２割から４割程度であり[7～10]，その他は栄養教諭以外の者が指導を担当することが多く，本学の実習とほぼ同様の傾向がみられた。このことから，栄養教諭から実習の指導を受ける機会は少ないのが現状といえる。栄養教諭の実習は，必ずしも栄養教諭が行う必要はないが，栄養教諭以外の教職員は栄養教育実習のねらいをわかっていないことがある[11]ことから，効果的な実習を行うためにも栄養教諭が指導を担当することが望まれる。しかしながら，栄養教諭の配置数は各都道府県により違いがあるため，実習を行う条件と栄養教諭配置の有無が合致するとも限らないことから，このことは栄養教育実習の体制における今後の課題である。

実習校における「食に関する指導」の実施状況では，実施されていた学校は約３割，実施されていなかった学校は約７割であった。この実施状況と，栄養教諭の配置状況についての関連は明確ではないが，「食に関する指導」を実施している実習校とほぼ同様の割合で栄養教諭が配置されていたことから，栄養教諭の配置状況と何等かの関連がある可能性が推察される。栄養教諭が配置されている小中学校では，給食をはじめとする食に関する事柄に取り組む様子がみられたことから，小中学校において食育を推進する重要な役割を担うことがうかがえる。

栄養教諭教育実習において，栄養教諭免許を保持し実際に業務に携わる者のうち，業務に対する課題が少ないと認識している者であっても，「授業を実践するスキル」や「児童･生徒を理解するスキル」といった，教育に関する専門性をもっと身につける必要があることがわかっている[12]。本研究の調査においても，研究授業に関して十分に準備が必要だったことや，児童・生徒との接し方について課題と感じる意見が多かった。このことから，経験者であっても，指導することについて課題があると認識しており，実習生にとってはさらに難しく感じることは当然であると推察される。

栄養教諭は必要だと思う者がほとんどであったが，なかには必要性がわからないという意見もみられた。特に子どもに対する食育は，将来の健康に大きな影響を与えることでもあることから，必要なことである。食の専門職として栄養教諭が中心となって食育に関わることが理想的ではあるが，環境によっては専門職が必ずしも関わることが難しいことも否めない。従って，効果的に食育を推進するためには，栄養教諭がより積極的に中心的な役割を担うことが期待される。

## Ⅵ．おわりに

小中学校で食育の授業を受ける経験は，工夫された給食や食に関する指導の充実など，食育に対するさまざまなメリットがあるが，一方で栄養教諭から実習の指導を受けた機会は少ないのが現状である。栄養教諭の配置数は各都道府県により違いがあるため，栄養教諭教育実習を行う条件と栄養教諭配置の有無が合致するとも限らないことから，このことは実習の体制における今後の課題であると考えられる。また，「食に関する指導」を実施している実習校とほぼ同様の割合で栄養教諭が配置されていたことから，食育の授業と栄養教諭の配置状況については関連がある可能性が示唆される。さらに，栄養教諭の経験者であっても，食育指導を行うことについて課題があると認識しており，実習生にとって指導することは難しいことだと推察される。より効果的に食育を推進するためには，栄養教諭が中心的な役割を担うことが重要だと考えられる。

本研究は，平成26年度国際学院埼玉短期大学研究費補助金の助成を受けた。

## Ⅵ．利益相反

開示すべき利益相反（COI）はない。

## Ⅶ．参考文献

1）独立行政法人日本スポーツ振興センター：平成22年度　児童生徒の食生活実態調査http://www.jpnsport.go.jp/anzen/Portals/０/anzen/kenko/siry-

ou/chosa/syoku_life_h22/H22syokuseikatsu_4.pdf（参照2015.11.20）
2）内閣府：平成27年度食育推進基本計画の目標値と現状値　http://www8.cao.go.jp/syokuiku/about/plan/moku_gen/index.html（参照2015.11.20）
3）文部科学省：栄養教諭制度の概要　http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/eiyou/04111101/003.htm（参照2015.12.22）
4）文部科学省：教員養成部会栄養教諭の養成・免許制度の在り方について　http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo 0 /toushin/04012001.htm（参照2015.12.22）
5）文部科学省：栄養教諭配置状況http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/syokuiku/__icsFiles/afieldfile/2015/07/02/1257966_0.pdf（参照2015.12.22）
6）さいたま市：記者発表資料　政令市初！ 全ての市立小・中学校の学校給食が自校方式となります http://city.saitama.jp/006/014/008/003/004/003/p042396_d/fil/H270623.pdf（参照2015.12.22）
7）上田 秀樹，山本 早紀子，西條 千知，辻 庸子，吉田 智子: 栄養教諭制度における栄養教育実習の現状と課題．大阪樟蔭女子大学学芸学部論集2009；46，63－76.
8）上田由喜子，小橋麻衣，山下治香，田中都子，細田耕平:教員志望学生の食育に対する意識．日本食育学会誌 2014；8，3，181－189.
9）並河信太郎：栄養教諭養成にかかる栄養教育実習の現状と課題．相愛大学研究論集 2011；27，127－141.
10）荒木裕子, 谷口真理子, 細井陽子:「栄養教育実習」の実施状況と課題．九州大学紀要 2014；51，2，149－157.
11）長幡伊藤友実，松田充代，伊能由美子，赤松利恵，藤原葉子: 栄養教諭免許保持者の特徴と栄養教育実習の受け入れに関する課題－栄養教諭免許非保持者との比較－．榮養學雜誌 2010；68，3，208－212.
12）会退友美，関口沙織，赤松利恵，長幡（伊藤）友実，松田充代，伊能由美子，藤原葉子: 栄養教育実習の受け入れに関する自身の課題と必要と考えるスキルの検討 東京都の学校栄養職員と栄養教諭における横断研究．日本健康教育学会誌；2011，19，1，57－65.

研究ノート

# 保育者養成における不本意学生について

# About an Unwilling Student in the Nursery Teacher and Kindergarten Teacher Training

大　橋　伸　次・野　尻　美　枝・西　田　咲　希

待機児童問題の解決が難しい中，保育および子育て支援に対する様々な整備を進める中で，保育士不足と言われるように保育士確保が問題となっている。しかし，一方では質保証も問われている。本学は幼稚園教諭および保育士養成校として多くの卒業生を幼稚園教諭や保育士として送り出してきた。しかし，進路変更等の理由から保育者の学びが本意ではなくなり，退学に至った例もある。養成校の使命である優れた免許・資格取得者を確実に育てるために，このように学びが本意でなくなった学生を不本意学生ととらえて，どのような特徴があるのかを考察した。

入学時の意識調査からは，不本意学生を定量的にとらえることは難しい。しかし，退学に至った学生の事例からは，学生の内面を理解しようと努めることにより，兆候の段階から把握することが可能となり，適切な支援に結びつくことがわかった。

キーワード：保育学生，保育者養成，不本意学生

## Ⅰ．はじめに

待機児童の問題の解決が難しい中，保育および子育て支援に対する様々な整備は着々と進んできている。そのような中で，保育者，特に保育士不足という言葉が使われるようになり，退職した保育士の再雇用や保育士試験の機会を増やすなどの検討が行われている。しかし，数を求める一方では質保証も問われている。

幼稚園教諭や保育士といった幼児教育および保育を専門職業とする保育者になるには，養成課程を有する短期大学等の養成校において，組織的な養成教育を通して幼稚園教諭免許や保育士資格を取得して，保育職に就くという方法が最も一般的である。

本学はそうした養成校として多くの卒業生を幼稚園教諭や保育士として送り出してきた。免許や資格を生かした就職率は95％を常に上回っている。しかし，保育者になりたいという希望で入学した学生の中にも，進路変更等の理由から保育者の学びが本意ではなくなり，退学に至る例もある。修業年限でとらえた場合，平成25年４月入学生が平成27年３月に卒業を迎えた学年となるが，その退学率は２％であった。養成校の使命は，優れた免許・資格取得者を確実に育てることである。

そこで，入学時の目的意識を失うことなく学び続け，優れた保育者を確実に養成するために，保育者の学びが本意でなくなった学生を不本意学生ととらえた場合，どのような特徴があるのかを考察することとした。

## Ⅱ．方法

幼稚園教諭や保育士などの保育職を志望する学生が，入学時においてはどのような意識を持って学生生活を迎えているのかについて，アンケート調査を実施した。そして，保育者になるための学びが本意ではなくなり，退学に至った学生の事例を取り上げる。

### １．調査対象

国際学院埼玉短期大学幼児保育学科に平成21年から平成25年に入学した学生766名のうち，調査日に欠席をした２名を除く764名を対象にアンケート調査を実施した。調査対象学生の学年度の状況は**表１**に示すとおりである。

**表１　調査対象**

| 入学年 | 2009 (21) | 2010 (22) | 2011 (23) | 2012 (24) | 2013 (25) | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 卒業年 | 2011 (23) | 2012 (24) | 2013 (25) | 2014 (26) | 2015 (27) | |
| 人数 | 149 | 132 | 163 | 164 | 156 | 764 |

２．調査方法

幼児保育学科１年前期の開講科目「教育原理」の授業時にアンケート用紙を配布し，その場で回答，その後に回収した。「教育原理」は幼稚園教諭免許および保育士資格に関する必修科目である。

３．実施時期

各年次とも入学後にオリエンテーションを実施し，その後に授業開始した１回目の授業時に実施した。

４．調査内容

調査内容は，１．保育経験（あなたが卒園したのは幼稚園ですか保育所ですか），２．取得希望資格，３．卒業時の就職希望，４．職業の志望を決めた時期，５．職業選択の理由，の５項目について選択および記述による回答を求めた。

Ⅲ．結果

設問１「保育経験（あなたが卒園したのは幼稚園ですか保育所ですか）」については，**表２**に示すとおりである。合計では幼稚園が75.62%，保育所が23.20%，その他が0.39%であった。ほぼ全員が幼稚園または保育所を卒園しているという状況である。

設問２「あなたが本学で取得したい資格は何ですか」については，**表３**に示すとおりである。幼稚園教諭免許と保育士資格以外のその他の資格についても回答を求めたために複数回答を可とした。比率はアンケート回答者764名に対する数値である。合計では幼稚園教諭免許と保育士資格の同時取得を目指したいと回答した者が97.74%，幼稚園教諭二種免許のみは0.39%，保育士資格のみは0.65%，資格はいらないは０%であった。その他の資格は検定等を含む専門資格ではないものが，31.28%であった。

その他の資格の内訳は**表４**に示すとおりである。その他の資格取得希望者合計239名に対する比率では，保健児童ソーシャルワーカーが85.36%，幼児体育指導員が8.37%，実践保育力検定が2.93%，ベビーマッサージが1.26%，漢字検定，障害者に対する資格，ホームヘルパー，公務員，資格名の未記入がそれぞれ0.42%であった。これらの資格の中で，保健児童ソーシャルワーカーは平成14年度から教育課程に受験資格取得の条件を組み込み，取得を推奨している資格である。幼児体育指導員と実践保育力検定は平成24年度から学生に情報提示と受験のサポートを行い，平成25年度から取得を推奨している資格である。

**表２　設問１あなたが卒園したのは幼稚園ですか保育所ですか**

**n＝764**

| 入学年 | 2009 (21) | 2010 (22) | 2011 (23) | 2012 (24) | 2013 (25) | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 卒業年 | 2011 (23) | 2012 (24) | 2013 (25) | 2014 (26) | 2015 (27) | |
| 人数 | 149 | 132 | 163 | 164 | 156 | 764 |
| 幼稚園 | 106 (71.14%) | 100 (75.76%) | 125 (76.69%) | 126 (77.30%) | 120 (76.92%) | 577 (75.62%) |
| 保育園 | 42 (28.19%) | 30 (22.73%) | 38 (23.31%) | 35 (21.47%) | 32 (20.51%) | 177 (23.20%) |
| 幼稚園，保育園 | 1 (0.67%) | 1 (0.76%) | 0 (０%) | 2 (1.23%) | 2 (1.28%) | 6 (0.79%) |
| その他 | 0 (０%) | 1 (0.76%) | 0 (０%) | 0 (０%) | 2 (1.28%) | 3 (0.39%) |
| 計 | 149 | 132 | 163 | 163 | 156 | 763 |

**（%：対人数）**

**表３　設問２あなたが本学で取得したい資格はなんですか（複数回答）**

**n＝764**

| 入学年 | 2009 (21) | 2010 (22) | 2011 (23) | 2012 (24) | 2013 (25) | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 卒業年 | 2011 (23) | 2012 (24) | 2013 (25) | 2014 (26) | 2015 (27) | |
| 人数 | 149 | 132 | 163 | 164 | 156 | 764 |
| 幼稚園教諭二種免許 | 1（0.67%） | 0（0％） | 0（0％） | 0（0％） | 1（0.64%） | 3（0.39%） |
| 保育士資格 | 1（0.67%） | 3（2.27%） | 0（0％） | 0（0％） | 1（0.64%） | 5（0.65%） |
| 幼稚園教諭二種免許と保育士 | 147(98.66%) | 129(97.73%) | 163（100%） | 163(99.39%) | 154(98.72%) | 747（97.74%） |
| その他の資格 | 56（37.58%） | 37（28.03%） | 38（23.31%） | 42（25.61%） | 66（47.31%） | 239(31.28%) |
| 資格はいらない | 0（0％） | 0（0％） | 0（0％） | 0（0％） | 0（0％） | |
| 計 | 205 | 169 | 201 | 205 | 222 | 965 |

**（％：対人数）**

**表４　その他の資格内訳（複数回答）**

**n＝239**

| 入学年 | 2009 (21) | 2010 (22) | 2011 (23) | 2012 (24) | 2013 (25) | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 卒業年 | 2011 (23) | 2012 (24) | 2013 (25) | 2014 (26) | 2015 (27) | |
| 人数 | 149 | 132 | 163 | 164 | 156 | 764 |
| 保健児童ソーシャルワーカー | 55（98.21%） | 35（94.59%） | 37（97.37%） | 38（90.48%） | 39（59.09%） | 204(85.36%) |
| 幼児体育指導員※1 | | | | 3（7.14%） | 17（25.76%） | 20（8.37%） |
| 実践保育力検定※2 | | | | | 7（10.61%） | 7（2.93%） |
| ベビーマッサージ | | | | | 3（4.55%） | 3（1.26%） |
| 漢字検定 | 1（1.79%） | | | | | 1（0.42%） |
| 障害者に対する資格 | | | | 1（2.39%） | | 1（0.42%） |
| ホームヘルパー | | 1（2.70%） | | | | 1（0.42%） |
| 公務員 | | | 1（2.63%） | | | 1（0.42%） |
| 未記入 | | 1（2.70%） | | | | 1（0.42%） |
| 計 | 56 | 37 | 38 | 42 | 66 | 239 |

**（％：対計）**

※１幼児体育指導員　2012（24）から学内掲示　2013（25）から授業概要にて推奨
※２実践保育力検定　2012（24）から学内掲示　2013（25）から授業概要にて推奨

設問３「あなたが就きたい職業は何ですか」については，表５に示すとおりである。複数回答を可としたことで，回答者数764名，合計回答数912であった。ここにはどちらかに就きたいという選択が含まれているが，比率はアンケート回答者に対する数値である。合計では保育所保育士が57.59％，続いて幼稚園教諭が47.64％，施設保育士が10.47％であり，その他が3.40％であった。

その他の職業の内訳は表６に示すとおりである。その他の職業希望者26名に対する比率では，未定が53.85％，企業内託児所と病院内の保育がそれぞれ11.54％，他はそれぞれ3.85％であった。なお，病院内の保育は企業内託児所的なものか病棟保育かについては，回答者もよく理解できていないためにこのような分類とした。

**表５　設問３あなたが就きたい職業な何ですか（複数回答）**

**n＝764**

| 入学年 | 2009 (21) | 2010 (22) | 2011 (23) | 2012 (24) | 2013 (25) | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 卒業年 | 2011 (23) | 2012 (24) | 2013 (25) | 2014 (26) | 2015 (27) | |
| 人数 | 149 | 132 | 163 | 164 | 156 | 764 |
| 幼稚園教諭 | 63 (42.28%) | 65 (49.24%) | 80 (49.08%) | 83 (50.61%) | 73 (46.79%) | 364 (47.91%) |
| 保育所保育士 | 84 (56.38%) | 71 (53.79%) | 94 (59.67%) | 97 (59.15%) | 94 (60.26%) | 440(57.59%) |
| 施設保育士 | 14 (9.40%) | 15 (11.36%) | 13 (7.98%) | 20 (12.20%) | 18 (11.54%) | 80 (10.47%) |
| 認定こども園 | | | | 2 (1.22%) | | 2 (0.26%) |
| その他 | 5 (3.36%) | 0 ( 0 %) | 11 (6.75%) | 4 (2.44%) | 6 (3.85%) | 26 (3.40%) |
| 計 | 166 | 151 | 198 | 206 | 191 | 912 |

**（%：対人数）**

**表６　その他の職業内訳**

**n＝26**

| 入学年 | 2009 (21) | 2010 (22) | 2011 (23) | 2012 (24) | 2013 (25) | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 卒業年 | 2011 (23) | 2012 (24) | 2013 (25) | 2014 (26) | 2015 (27) | |
| 人数 | 149 | 132 | 163 | 164 | 156 | 764 |
| 保育所の事務 | | | 1 (9.01%) | | | 1 (3.85%) |
| 障害者施設の事務 | | | 1 (9.01%) | | | 1 (3.85%) |
| 児童福祉に関する仕事 | | | 1 (9.01%) | | | 1 (3.85%) |
| ソーシャルワーカー | | | 1 (9.01%) | | | 1 (3.85%) |
| 企業内託児所 | | | | | 3 (50.00%) | 3 (11.54%) |
| 病院内の保育 | | | 3 (2.73%) | | | 3 (11.54%) |
| 児童相談員 | | | | | 1 (1.67%) | 1 (3.85%) |
| 幼児に関わる仕事 | | | 1 (9.01%) | | | 1 (3.85%) |
| 未定 | 5 (100%) | | 3 (2.73%) | 4 (100%) | 2 (3.33%) | 14 (53.85%) |
| 計 | 5 | | 11 | 4 | 6 | 26 |

**（%：対計）**

設問４「その職業に就きたいと思うようになったのはいつ頃ですか」については，表７に示すとおりである。合計では中学校が36.13%，小学校が25.92%，高校が25.39%，幼稚園・保育園が12.17%，高校卒業後は0.26%であった。

設問５「なぜその職業に就きたいと思うようになったのですか」については，表８に示すとおりである。主な選択理由ではあるが，複数回答を可とした。その結果，回答者764名の合計回答は985であった。子どもが好きが37.83%，職業体験学習やボランティア活動等の経験からが27.88%，幼稚園・保育所時代の先生に憧れたが25.52%，子どもの世話をした経験からが15.97%であり，以上４項目がここまでが10%を超えていた。

本研究における対象年に入学した学生766名のうち，本人の意思による退学者は31名（4.04%），事故による死亡者１名であった。休学者は１名（0.13%）いた。休学理由は病気治療によるものであり，１年間は休学

**表７　設問４その職業に就きたいと思うようになったのはいつ頃ですか**

**n＝764**

| 入学年 | 2009 (21) | 2010 (22) | 2011 (23) | 2012 (24) | 2013 (25) | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 卒業年 | 2011 (23) | 2012 (24) | 2013 (25) | 2014 (26) | 2015 (27) | |
| 人数 | 149 | 132 | 163 | 164 | 156 | 764 |
| 幼稚園・保育所 | 17 (11.40%) | 23 (17.42%) | 14 (8.59%) | 26 (15.85%) | 13 (8.33%) | 93 (12.17%) |
| 小学校 | 42 (28.19%) | 30 (22.73%) | 42 (25.77%) | 42 (25.61%) | 42 (26.92%) | 198(25.92%) |
| 中学校 | 59 (39.60%) | 44 (33.33%) | 64 (39.26%) | 56 (34.15%) | 53 (33.97%) | 276(36.13%) |
| 高校 | 31 (20.81%) | 34 (25.26%) | 43 (26.38%) | 38 (23.17%) | 48 (30.77%) | 194(25.39%) |
| 高校卒業後 | 0（0％） | 1 (0.76%) | 0（0％） | 1 (0.61%) | 0（0％） | 2 (0.26%) |
| 計 | 149 | 132 | 163 | 163 | 156 | 763 |

**（％：対人数）**

**表８　設問５なぜその職業に就きたいと思うようになったのですか（複数回答）**

**n＝764**

| 入学年 | 2009 (21) | 2010 (22) | 2011 (23) | 2012 (24) | 2013 (25) | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 卒業年 | 2011 (23) | 2012 (24) | 2013 (25) | 2014 (26) | 2015 (27) | |
| 人数 | 149 | 132 | 163 | 164 | 156 | 764 |
| 子どもが好き | 50 (33.56%) | 43 (32.58%) | 81 (49.69%) | 53 (32.32%) | 62 (39.74%) | 289(37.83%) |
| 親，知人が保育者で影響された | 17 (11.41%) | 11 (8.33%) | 15 (9.20%) | 16 (9.76%) | 7 (4.49%) | 66 (8.64%) |
| 幼稚園・保育所時代の先生に憧れた | 37 (24.83%) | 32 (24.24%) | 36 (22.09%) | 56 (34.15%) | 34 (21.79%) | 195(25.52%) |
| 職業体験学習，ボランティア活動等 | 38 (25.50%) | 43 (32.58%) | 49 (30.06%) | 56 (34.15%) | 27 (17.31%) | 213(27.88%) |
| 特技を生かしたい | 9 (6.04%) | 1 (0.76%) | 13 (7.98%) | 3 (1.83%) | 4 (2.56%) | 30 (3.93%) |
| 子どもを世話した経験から | 29 (19.46%) | 20 (15.15%) | 25 (15.34%) | 39 (23.78%) | 9 (5.77%) | 122(15.97%) |
| 子どもを幸せにしたい | 5 (3.36%) | 3 (2.27%) | 0（0％） | 3 (1.83%) | 0（0％） | 11 (1.44%) |
| 子育てをサポートしたい | 2 (1.34%) | 0（0％） | 0（0％） | 0（0％） | 1 (0.64%) | 3 (0.39%) |
| 資格がほしい | 0（0％） | 1 (0.76%) | 3 (1.84%) | 2 (1.22%) | 3 (1.92%) | 9 (1.18%) |
| 中学，高校の進路指導 | 0（0％） | 0（0％） | 0（0％） | 0（0％） | 7 (4.49%) | 7 (0.92%) |
| 保育することによって自分も成長したい | 3 (2.01%) | 2 (1.52%) | 1 (0.61%) | 0（0％） | 3 (1.92%) | 9 (1.18%) |
| その他 | 3 (2.01%) | 8 (6.06%) | 11 (6.75%) | 3 (1.83%) | 6 (3.85% | 31 (4.06%) |
| 合計 | 193 | 164 | 234 | 231 | 163 | 985 |

**（％：対人数）**

して治療に専念したが，治療の長期化により退学している。

## Ⅳ．考察

### １．入学時の意識

本調査は各年度の入学生に対するオリエンテーションが終了して，授業を開始した１回目の授業時に実施している。そのため，受験に至る経緯や合格から入学までに意識の変容があったのかどうか，さらにはオリエンテーションの影響がどのように及んでいるのかについては調査していない。授業開始時にどのような意識で学生生活に入ったかを示していると捉えている。

アドミッションポリシーを踏まえて本学に入学した学生の傾向は，資格者としての職業選択をした者といえる。開学以来，幼稚園教諭二種免許状と保育士資格の同時取得を方針として推奨していること，また，特にこれからの保育者のあり方を鑑み，同時取得を目指す者が入学を果たしている。これからの保育者のあり方とは，保育教諭など活躍できる選択肢が広がり，免許・資格を併有していることが望ましく，併有がさらに進んで望まれる状況であるということである。調査対象の最後の平成25年入学生は平成27年３月に卒業期を迎えたが，やむを得ない理由から幼稚園教諭二種免許と保育士資格のうち，一方の取得が叶わなかった学生は，就職内定先から引き続き最短期間で取得できなかった資格の取得を求められ，平成27年度前期に科目等履修生制度を利用して取得したという例がある。また，実際，どちらか一方のみを希望する場合は，すでに社会経験を有した上で，さらに将来の継承者として特に免許あるいは資格の取得を希望している場合等であり，大多数の入学生からすると例外的であると言い得るであろう。

免許・資格取得を希望しない入学生がいないということは，就職希望する職業と免許・資格を深く結びつけて入学していることが窺える。その他の資格については，授業概要に推奨している資格は回答用紙の選択肢に入れた。それ以外は記述する方式にしたが，それぞれ希望の資格が示されている。しかしながら，口頭での個別の質問によると，「～のような資格」という表現があり，何かの情報に反応したと思われる資格が含まれており，具体的な資格名称はわからないという回答が含まれている。１名のみの回答という資格の中に，そのような例が含まれている。

就職希望については，保育所保育士と幼稚園教諭とでほぼ二分している。この５年間の傾向は，年度ごとに見てもほぼ合計の数値の通りである。約５から14ポイントの差で保育所保育士の希望が多い。さらに遡った大橋の平成５年からの調査では，平成12年度入学生までは幼稚園教諭の方が多かったが，平成13年に保育士（保育所）が上回ってからは，この傾向が続いている。保育経験では幼稚園卒園が保育所卒園よりも合計で52.70ポイント多い。年度ごとに見ても，約43から56ポイント幼稚園卒園が多い。また，職業選択の理由として幼稚園・保育所時代の先生に憧れたが３番目の上位にあるが，就職希望では逆転している。この理由としては，ひとつには，就職活動期を迎えた学生の会話として，幼稚園と保育所を評して，幼稚園は学校みたい，保育所は家庭的という会話が聞かれることがあり，厳しいイメージの幼稚園，温かいイメージの保育所ととらえていること。また，待機児童という言葉が高校生の耳にも届くようになってから，早い段階から保育所のニーズの高まりを感じ取っている。このような学生の評価があると考えられる。

その職業に就きたいと思うようになった時期は，中学校が各年度で最も高値で約33から40ポイントで，合計では36.13ポイントであった。希望の時期については，ほぼ同じ傾向が続いている。特に中学校が多い理由としては，職場体験が行われていることによると考えられる。中学校の職場体験の中では，幼稚園と保育所は特に希望が多く，養成課程の一環で行う実習生も中学生と一緒になる場合もある。職場体験としての保育では，子どもとの楽しい触れ合いを重視することで保育の素晴らしさを感じられるように考慮して行っていることが多い。そのため，本学のような養成施設を希望する者のうち，中学校での職場体験をしている場合，子どもが楽しかった，子どもが可愛かった，先生が優しかった，などの感想が顕著である。

入学時オリエンテーションを終えて授業開始間もない段階では，幼稚園教諭免許および保育士資格を取得し，子どもに関わる専門職に就くという意識は高い。竹内によると「共通した一つの変数から不本意入学なのかどうかを定量的に把握することが難しい」[1)]としているが，保育という専門職を目指して学ぶということにおいては，教養系の大学等とは明らかに違う学生像があり，入学してからその学習に入る時点ではという意味では不本意入学という学生は少ないとし得る。

しかしながら，このような状態から全学生が実際に幼稚園教諭免許および保育士資格を取得し，その目指

す職に就けるわけではない。２年間の養成課程の途中で，進路変更等の理由から学ぶことが本意ではなくなる学生が出てくる。そのような学生を不本意学生ととらえることとする。

## ２．不本意学生の事例

養成教育の半ばにして，学ぶことが本意ではなくなった学生の事例を取り上げ，それぞれの場合について考察した。

### （１）学生A

学生AはAO入学試験に合格して入学した。AO入学試験は対話による相互理解を特徴とする入学試験で，30分間の面談を２回実施する。その面談において，本学で学びたいという意欲，および将来の進路について確認している。また，早期に入学を決定することから，入学後の学びにスムーズに入れるように入学前教育としてプログラム化した模擬授業等へ参加し，その際に入学までに取り組む課題の提示を受けて，課題に取り組んでから入学してきた学生である。

学生Aのアンケートの結果は，設問１保育経験は保育所卒園，設問２取得したい資格は幼稚園教諭二種免許，設問３就きたい職業は保育所保育士，設問４その職業に就きたいと思うようになった時期は小学校，設問５なぜその職業に就きたいと思うようになったのかは幼稚園・保育所時代の先生に憧れた，特に「小さい子が好きで保育園の先生が好きだったから」とコメントを書いている。取得したい資格として保育士資格の同時取得は目指していない。しかし，就きたい職業は保育所保育士と回答しており，認識の浅さがうかがわれるものの，子どもに関わる職業を目指すという点においては，特に意識において低いということはない。

しかしながら，１年次２月になり，進路変更を理由に退学に至った。退学時の欠席回数は28回，遅刻１回であった。欠席回数は１科目の授業回を毎回１回と計算し，その欠席回数の総数である。成績は１年前期の結果になるが，学年下位であった。

本学は担任を置くクラス制を特徴に持つ。クラス担任は，担当する教科についてはそれぞれの専門ではあるものの，担任として求められる業務については，担当教科とは関係なく務めることになっている。その基本となるのはクラスに在籍する学生の把握である。面談や観察記録を通して一人ひとりを理解し，クラスをまとめることに努めている。また，学年ごとの担任による学年会を毎週１回開催し，さらに学科会議を月２回開催することで，学生の把握に努めている。その中で，学生Aは授業の始まった４月のうちから授業中の居眠りを複数の授業担当者から指摘されている。繰り返す居眠りの原因は授業終了後から夜にかけて行っているアルバイトの影響が一因である。帰宅が深夜になり，授業中に居眠りをしていた。このことが教員間で情報共有され，注意を要する学生として，細心の注意を払っての学生支援を行った。

５月初旬には疲労からくる体調不良により，１時限目の授業を中心に欠席が見られるようになった。担任からの指導にはよく耳を傾けていたが，欠席は繰り返した。また，家庭環境が複雑であり，家族内で孤立していることが本人からの話として理解できた。

後期になってからも欠席を繰り返す不安定な学生生活は改善されず，後半になるにしたがい受験資格喪失科目が見られるようになった。その結果，修業年限の２年間での卒業と幼稚園教諭免許の取得が不可能となった。この時点に至って，学生A本人から退学の申し出があった。尚，この時点ではアルバイトは継続しており，退学に関しての保護者の意向は本人に任せているとのことであった。

意欲等において状態が良い時と，不安定は時に二分し，学生生活の内容に差が見られた学生であった。高校時代は運動部に在籍し，欠席はなかった。成績は評定平均Cランクであるが，国語を苦手科目としていた。入学後の学生生活において不安定を克服できていれば養成教育を受ける学習能力は十分にあった。幼稚園教諭免許取得のための教育実習４週間のうちの１週間を，６月に観察実習として実施した。その際の評価は**表９**に示すとおりである。

実習園からの評価票では，「明るく積極的にいろいろな子どもとかかわっていた。」，「…学ぶ姿勢があった。」という記述が見られる。また，実習中の訪問指導の際の訪問教員の所見においても，「表情が生き生きとしていた。」とあり，問題を感じさせる点は見られない。さらには自己評価においても，「子どもの姿を通して…必要であると学んだ。」とか，「今後学びたいことは…身につけること。」と自らの学び得たことと課題を見出している。

しかしながら，問題の兆候は実習評価票の「子どもたちに指示的な言葉掛けが多かった…」である。そして，これにつながる自己評価として，「子どもの姿を通して，子どもたちに先生らしく振舞うことも大切で

**表９　Aの教育実習（１年次）の評価**

| | | |
|---|---|---|
| 教育実習（１年次） | 評価票 | ・明るく積極的にいろいろな子どもとかかわっていた。<br>・先生の手伝いも動きをよく見て行動し，学ぶ姿勢があった。<br>・子どもたちと関わる中で，言葉遣いや立居振舞にもう少し注意を払ってほしい。<br>・子どもたちに指示的な言葉掛けが多かった。３歳児にふさわしい雰囲気が不足していた。<br>※評価票のクラス番号氏名を未記入で実習園に提出している。 |
| | 訪問教員所見 | ・表情が生き生きとしていた。<br>・自ら進んで仕事をしたり，声をかけている様子が伝わった。 |
| | 自己評価票 | ・子どもの姿を通して，子どもたちに先生らしく振舞うことも大切であるが，子どもたちに寄り添い，自分自身も素直になることも必要であると学んだ。<br>・保育者の姿を通して，子どもたちの話をしっかり聞くことが，子どもたちと話すことにるながることを学んだ。<br>・今後学びたいことは技術力のほかに，臨機応変な行動ができる機転を身につけること。 |

あるが，子どもたちに寄り添い，自分自身も素直になることも必要であると学んだ。」と気付いているような評価をしている。「教育原理」１回目の授業では，「理想の保育者像」というテーマで将来どのような保育者になりたいかを絵に描くということをした。学生Aは保育者としての自分を真ん中に大きく描き，両手に手をつないだ子どもを一人ずつ描いている。その周囲には，先生として子どもたちにしてあげたいと思い描いているのであろう外遊びでの固定遊具，室内遊びの遊具，スケッチブックとクレパスと鍵，鍵盤と音符，プレートにきれいにセットした昼食などを描いている。学生Aの理解する「先生」らしいは，子どもに何かをさせる，してあげることができるというイメージである。そのような理解があったために，その対極として子どもの言うことを聴いて理解するという意味での「寄り添う」ということが，この時点ではできなかったと推察できる。このような保育者像を理想としたのは，設問５その職業に就きたい理由として幼稚園・保育所時代の先生に憧れたと回答した理由として特に記述している内容にうかがうことができる。「小さい子が好きで，保育園の先生が好きだったから」と書いている。この好きな先生がそのようなタイプの先生であり，卒園してから以後の学校生活の中でもそのような先生を理想とする経験を有してきたものと推察できる。

前向きな姿勢の部分は，９月に「保育実習指導Ⅰ」の授業の一環で実施した学年交流プログラムにおいても見られた。このプログラムは（１）野外活動や表現活動を通して実習に必要な対人関係能力を養う，（２）グループで協力して取り組むことで学びあい互いの保育スキルを高める，（３）実習生に期待される「あそびの創造力」を培い，教材研究を通して部分実習のイメージを膨らませる，という目的の野外での活動を含む取り組みである。野外での活動プログラムの飯盒炊爨活動においては，班員として「気働き」，「笑顔」，「リーダーシップ」，「タイムマネジメント」の項目において「５＝自信がもてた」と自己評価した。また，２日目のプログラムの保育内容の教材研究活動において，他グループが「子どもの目線」を意識して教材研究を行い，研究発表をグループ単位で実施していたのに対し，自分たちの発表について学生Aは，「子どもの目線で作った工夫点が言えなかった」と「子どもの発達理解」，「新しい環境への順応」の２項目を今後の課題として「努力が必要だと思う」と自己評価した。

しかし，それでもなお不安定な学生生活，特に欠席を繰り返すごとにクラスの中に居所を自ら失っていった様子である。退学の申し出があった際には，「学校そのものに耐えられない…」ということを話していたが，クラスの中には学生Aを心配する学生が多くいた。退学の申し出の少し前からは友人からの連絡，担任からの連絡が取れなくなっていたという状況があった。

良い時とそうでない時の差の大きいために，結果的には自ら居場所をなくすように追い込んでいることが窺える。

（2）学生B

学生BはAO入学試験に合格して入学した。AO入学試験の方法，何を重視して合否を決定したか，入学決定から入学までについてはAと同じである。

学生Bのアンケートの結果は，設問1保育経験は幼稚園卒園，設問2取得したい資格は幼稚園教諭二種免許と保育士資格の同時取得，設問3就きたい職業は幼稚園教諭，設問4その職業に就きたいと思うようになった時期は高校，設問5なぜその職業に就きたいと思うようになったのかは子どもが好きという理由からで，特に「子どもと関わるのが楽しくて好きだから」とコメントを書いている。アンケートからすると，資格取得希望，就きたい職業とその理由などからして意識は高いと言える。

退学の意向を示したのは1年後期10月のことである。理由は進路を考えた時，保育職に違和感を覚えたということであった。クラス担任は入学後，少し学生生活に慣れた頃に個別の面談を全員と行う。その後は適宜行っている。学生Bの面談の中でわかったことは，設問4その職業に就きたいと思うようになった時期が高校というのは，本人が積極的に決めたのではないということだった。高校での進路決定の際には，美容系の職業を目指しての進学と保育で迷ったということであった。周囲，特に保護者と進路担当教諭からの勧めで短期大学の保育系に決めたという経緯が明らかになった。そのため，授業を受講し，特に6月に実施する教育実習（1年次）を経験した際には，訪問指導した教員の所見によると，「子どもと接する中で，子どもの人見知りの実態と直面し，試行錯誤している。」とある。この実習の際の評価は**表10**に示すとおりであるが，この経験が自分には保育の仕事はできないのではないかという不安となり，違和感につながっていったと推察できる。

しかしながら，特に目立つ欠席等はなく，9月に「保育実習指導Ⅰ」の授業の一環で実施した学年交流プログラムにおいては，野外で実施した飯盒炊爨のグループ班長を務めた。このプログラムでの自己評価は，「自然と自分の仕事を見つけ，進められていた」，さらに「班長として大変だったこともあったが，やりとげられてよかった」とある。しかし，このプログラムで求められるレベルには達していなかった。本人認知の数値化では，①実感した自信「リーダーシップ」「気遣い」「積極性」「タイムマネジメント」が「5＝自信がもてた」であるが，②今後の課題「リーダーシップ」「タイムマネジメント」が「1＝課題である」とねじれている（①は5件法　1＝自信につながらなかった＜5＝自信がもてた　②は1＝まったく当てはまらない＜5＝本気で取り組みたい課題である）。尚，学生Bの日常の学生生活は協働という点においては，積極性やチームワークへの著しい活躍，提出物などに見られるタイムマネジメントは，むしろ指導対象になることがあり，ここに「認知の差」を見て取ることができる。

そして，後期になったところで突然欠席を続けた。担任からの働きかけにより，担任との面談を行ったところ，免許・資格を取得することが将来の可能性を広げることになり，学ぶ姿勢と学び方を身につけることが重要であることを理解することができ，欠席は少なくなり，2月には保育実習Ⅰ（保育所）を行い，後期を終えた。

保育実習Ⅰ（保育所）の評価は**表11**に示すとおりである。実習園の評価では「子どもとの関わりや部分実習にも消極的であった…」や「事前の教材準備等，目標を明確にして，それに沿った姿勢を持って取り組むことが課題である」という記述があった。また，訪問指導の教員所見としては，「幼稚園実習と比べ充実しており，実習が楽しいと報告を受ける。」とあるが，実習園の評価とは異なる自己評価であると言える。

**表10　Bの教育実習（1年次）の評価**

| | | |
|---|---|---|
| 教育実習（1年次） | 評価票 | ――― |
| | 訪問教員所見 | ・腰の痛みがあるようだ。<br>・子どもと接する中で，子どもの人見知りの実態と直面し，試行錯誤している。 |
| | 自己評価票 | ・目標であった，子どもの幼稚園における1日の流れ，子どもと保育者の関わり，子ども同士の関わりの3つを重点的に観察することができた。 |

**表11　Bの保育実習Ⅰ（保育所）の評価**

| | | |
|---|---|---|
| 教育実習（１年次） | 評価票 | ・保育者の動きを捉えて，進んで準備や環境整備に努めていた。<br>・実習当初，自分から挨拶ができなかったことが残念であった。<br>・子どもとの関わりや部分実習にも消極的あったが，保育者の言葉かけにより改善された。<br>・事前の教材準備等，目標を明確にして，それに沿った姿勢を持って取り組むことが課題である。 |
| | 訪問教員所見 | ・幼稚園実習と比べ充実しており，実習が楽しいと報告を受ける。<br>・もう少し全体の様子をとらえてほしいと園長先生から話があったため，本人に指導した。<br>・日誌にもう少し気づきや環境構成をいれてほしいと指導した。 |
| | 自己評価票 | ・出勤時間等の遅れはなかった。<br>・体調管理には気をつけていたが，多少の体調不良があった。実習には問題なかった。<br>・外遊びの時間は子どもと楽しく体を動かして遊べた。<br>・部分実習の事前準備が足りなかった。 |

２年前期は順調に始まっていった。学生Bの姿勢からは免許・資格の取得についての強い意志を担任は感じ取っていた。しかし，５月に実施した体育大会の会場で体調不良を訴えてきたところを担任が対応すると，進路について不安があり，徐々に不安が大きくなっていると話してきた。そのような状況はあったものの，前期までは免許・資格取得に必要な履修科目はすべてに合格していた。

後期に入ると初日から欠席を続け，受験資格喪失の科目が出てきた。そして，２年後期の最終授業の週に入ったところで退学の手続きを行った。その際に，退学後のことを確認すると，美容系の専門学校に行きたいという考えであった。１年次の授業担当教員に対しては心理学を学びたいので，４年制大学の心理学部に編入学を希望していると話していた時期もあったが，最終的には高校からの進学時に迷った美容系の職業に進むという変更をしたことになる。

進路の迷いの中で，周囲の勧めで選んでみたが，実習等の経験から保育の実際の様々な面に触れたときに，思い描いていたようなことばかりでないことから意欲が揺らぎ，一旦は諦めていた別の進路に進み直したという形になった。意識のレベルで気持ちが揺らいだ場合の難しい事例である。入学後の観察や面談の中で早期にそのような状況にある学生であることを理解し，意欲を失わせないことが重要な例である。

## Ⅴ．まとめ

不本意入学，あるいは不本意学生をどのような基準でとらえるかということは難しい。本学のような保育系養成施設においては不本意入学については，入学試験の際に面談や面接を行い，入学目的を確認しているので，不本意入学に当たる者に合格者はいない方式で選抜している。しかし，他の進路との迷いがあった中で保育者を選択した場合，免許や資格取得までの学習過程を簡単で娯楽的に楽しい取り組みと考えている場合，保育や教育の現場を先生になれたときの自分が中心に展開できるものと思い込んでいる場合などは，免許・資格を取得するための学びの途中で学ぶことが本意ではなくなる可能性がある。そして，そのような可能性が起きてくるときには兆候がなにかしら出ている。それを的確にとらえることは極めて重要である。

入学後の学生は，ほぼ例外なく保育者になるための学習を期待している。しかし，本格的な学習が始まり，学生によってはアルバイト等の養成校以外の場所での新たな生活も軌道に乗り出してくる。すると，進学することへの集中から，入学直後の緊張の時期を経て，学生生活が順調になる中で意識がやや揺らいでくることがある。本格的な机上の学び，保育現場における実習という学び等々は，普通教育の高校までの学びとは大きく異なる。そこで，この意識の揺らぎが起きる中で，学ぶことが本意でなくなってくる学生が不本意学生として，様々な理由で進路変更，最終的には退学という方向に向くことになる。

不本意学生に至る可能性の強い学生には，早い段階でその可能性をとらえ，様々な支援をすることが重要である。そのとらえるアンテナはクラス制による場合は，担任が最も敏感であり，担任を中心とする学年，

学科全体で情報を共有し，組織的に支援を行うことでる。

定量的に不本意学生をとらえることは難しいが，注意したい点を三点見出せる。一つには進学決定の際の考え方や目指す進路，取得したい免許・資格，学生生活の姿勢にねじれや矛盾がないかどうかである。二つ目は自己評価と評価者評価に大きなかい離があるかどうかである。三つめはすべてが思い通りにいかないときなどに，調整して自己効力感を持てるかどうかである。これらの点に注意しつつ学生の内面を理解しようとすることによって，兆候の段階から把握できる可能性が高くなり，把握が早いほど養成教育の達成に向けた適切な支援が行えるようになる。

## Ⅵ．利益相反

開示すべき利益相反（COI）はない。

## Ⅶ．参考文献


1）竹内正興：大学「不本意入学者」の意識特性に関する一考察，関西教育学会年報　2014；38；106－110

2）大橋伸次：保育学生の理想的保育者像について，国際学院埼玉短期大学研究紀　2010；31；37－42

3）大橋伸次：保育学生の理想的保育者像形成の過程について，国際学院埼玉短期大学研究紀要　2011；32；21－26

4）大橋伸次：保育学生の保育職志望理由について，国際学院埼玉短期大学研究紀要　2013；34；13－19

5）大橋伸次：保育職志望学生の職業意識について，国際学院埼玉短期大学研究紀要　2014；35；１－７

6）野尻美枝，大橋伸次，松尾瑞穂，岸美紗，西田咲希，東由実：学年交流プログラムにみる学生の学びの様相－インフォーマル・ラーニングを中心に－，国際学院埼玉短期大学研究紀要　2014；35；61－66

7）野尻美枝　大橋伸次　松尾瑞穂　岸美紗　西田咲希　東由実：飯盒炊爨を通して振り返る保育学生の協働意識，全国保育士養成協議会　第53回研究大会（博多），2014

8）神林博史：本学における不本意入学者の特徴－東北学院大学新入生意識調査の分析－，東北学院大学教育研究所報告集　2014；14；15－25

9）三木和子：保育・教育実習経験による保育選考短期大学生の保育者効力館（PTE）の変化についての検討，日本教師教育学会年俸　2015；24；82－91

研究ノート

# 短期大学生におけるMicrosoft Office2010に関するコマンドの理解について

# A Study on Understanding Microsoft Office2010 Command of Junior College Students

中　平　浩　介

Microsoft Office2010に含まれるWord2010やExcel2010といったソフトウェアをストレスなく使うためにはそのソフトウェアに用意されているコマンドを理解しその操作に十分習熟する必要がある。それには繰り返し行う反復練習が最も効果的である。繰り返し何度も行う反復練習でのみ実際の業務に耐えられるだけの技量にレベルアップすることができる。

今回の報告ではMicrosoft Office2010に含まれるWord2010とExcel2010に用意されているコマンドがどの程度知識として定着しているかについて実習終了時に実施した小テストの結果から考察する。

キーワード：コマンド，Word2010，Excel2010，Microsoft Office2010

## Ⅰ．はじめに

本学における情報処理Ⅰの授業では平成27年度シラバスに示しているようにWord2010とExcel2010の基礎的な操作方法の習得をその到達目標とし，そのためのテキスト[1)]を用意した。この到達目標を達成するため，テキストに含まれるStepごとのLessonから，そのLessonに含まれる問題を目次に従って実習した。テキストの構成は前半がWord2010を扱い後半がExcel2010を扱う内容である。

コマンドにはホルダやファイルの操作からキーボードを使ったショートカットキーで働くコマンドまで実に多くのものがあるが，少なくともテキストで学んだコマンドについての理解が十分であればWord2010とExcel2010の初歩的な操作は可能である。そこでテキストの内容を一通り終えたところで小テストを行い，コマンド理解の程度についてどの問題の正解率が高くてどの問題が低いのかを考察し，今後の授業における理解度のアップにつなげたい。なお，テキストで扱う内容にはWord2010とExcel2010に固有のコマンドもあるが，Windows 7 やOffice2010に共通のコマンドもある。

## Ⅱ．方法

Word2010とExcel2010で学ぶべき練習問題，課題問題を一通り終えたところで60題テストを実施した。実習によって理解したはずの内容についてその正解数，正解率を検討し，学生が学んだコマンド機能をある程度は使えるようになったのかそのコマンドについての理解が深まったのか検討する。

小テスト実施対象は幼児保育学科１年生121名，健康栄養学科１年生90名である。いずれも７月の授業最終回に実施した。各端末に問題ファイルを送信し解答後回収した。

## Ⅲ．結果

小テスト問題と正解率については表１に示した。問１から問30までがWord2010に関しての設問であり，問31から問60までがExcel2010についての設問である。

表２はWord2010とExcel2010それぞれの正解数の合計と正解率を示したものである。Word2010では正解数が合計4,303，Excel2010では正解数が4,009，全設問数が両者とも延べ数で6,330であった。正解率はWord2010が68.0%，Excel2010が63.3%であった。どちらも60%は超えており，Word2010が５ポイント高い。

**表１　60題テスト結果**

**設問：問題を読み，正しいと思えば１を，そうではないと思えば２を解答欄に入れなさい　　n=211**

| 問題 | 問題文 Word2010 | 正解数 | 正解率 |
|---|---|---|---|
| 1 | ファイル名に使えない文字はあるが，全角，半角どちらでも使用可能である | 199 | 94.3% |
| 2 | ファイル名に@の記号は使えない | 95 | 45.0% |
| 3 | 内容を修正して上書き保存を選ぶと以前のファイルはなくなる | 185 | 87.7% |
| 4 | 表示モードには５種類のモードがある | 87 | 41.2% |
| 5 | リボンは通常４つのタブに分類されている | 129 | 61.1% |
| 6 | 現在のページ数は言語バーに表示される | 104 | 49.3% |
| 7 | 入力した文字を全角カタカナに変換するにはＦ６キーを押す | 102 | 48.3% |
| 8 | 読みのわからない漢字を変換するときはIMEパッドを使う | 192 | 91.0% |
| 9 | ：はセミコロンと読む | 117 | 55.5% |
| 10 | 離れた箇所の範囲指定はCtrl + ドラッグでできる | 202 | 95.7% |
| 11 | 変換対象となった文節を注目文節という | 140 | 66.4% |
| 12 | Ctrl + → で変換対象の文節を変更できる | 123 | 58.3% |
| 13 | Deleteを使うとカーソルの右側の字を消せる | 146 | 69.2% |
| 14 | Word では段落記号から段落記号までを段落とよぶ | 134 | 63.5% |
| 15 | 書体のことをフォントという | 200 | 94.8% |
| 16 | 書式には文体書式と文字書式がある | 98 | 46.4% |
| 17 | 文字の幅が違うフォントをプロポーショナルフォントという | 86 | 40.8% |
| 18 | 初期設定では日本語も英字もMS明朝がセットされている | 109 | 51.7% |
| 19 | 一般に件名は本文より下に書く | 181 | 85.8% |
| 20 | 拝啓と入力すると敬具と出てくるのは入力オートフォーマットが働いているからである | 204 | 96.7% |
| 21 | タブの種類には５種類がある | 116 | 55.0% |
| 22 | 通常段落の左右の余白から文字列までの位置を変更するにはタブを使う | 102 | 48.3% |
| 23 | 禁則処理は行頭禁則と行末禁則の２つである | 105 | 49.8% |
| 24 | ルビとはふりがなのことである | 180 | 85.3% |
| 25 | スタイルを使うと様々な書式を簡単に設定できる | 195 | 92.4% |
| 26 | 検索機能を使うと指定した文字列を別の文字列に一度に置き換えることができる | 123 | 58.3% |
| 27 | Shift + Enter で強制的にページを変更できる | 85 | 40.3% |
| 28 | 段落の先頭に連番や行頭文字を挿入することができる | 195 | 92.4% |
| 29 | 蛍光ペンを使うとマーカーを引いたように文字を強調することができる | 204 | 96.7% |
| 30 | 文字列と同様に段落にも下線を付けることができる | 165 | 78.2% |
| | | 143.43 | 68.0% |

| 問題 | 問題文 Excel2010 | 正解数 | 正解率 |
|---|---|---|---|
| 31 | 初期状態では１つのブックに３枚のワークシートが用意されている。 | 96 | 45.5% |
| 32 | 通常１つのシートを１つのファイルとして扱う。 | 87 | 41.2% |
| 33 | 通常上書き保存をすると前のファイルの中身は消える | 185 | 87.7% |
| 34 | 作業対象のセルをクリックするとアクティブセルになる | 184 | 87.2% |
| 35 | 名前ボックスにはアクティブセルのセル番地が表示される | 134 | 63.5% |
| 36 | 500円　と入力すると文字列として扱われる | 175 | 82.9% |
| 37 | ￥500　と入力しても文字列として扱われる | 97 | 46.0% |
| 38 | ３－２　と入力すると１と表示される | 146 | 69.2% |
| 39 | コロン入りの数字は時刻として扱われる | 162 | 76.8% |
| 40 | エラーインジケーターとは設定したルールに違反するセルの左上に表示される緑色の三角のことである | 137 | 64.9% |
| 41 | 範囲指定をしてから入力すると，指定した範囲の中だけでアクティブセルが移動する | 175 | 82.9% |
| 42 | セルの中で改行することはできない | 153 | 72.5% |
| 43 | 漢数字もオートフィル機能で連続入力できる | 103 | 48.8% |
| 44 | セルの削除とデータの削除は結果として同じである | 102 | 48.3% |
| 45 | 一旦削除した行や列は元にもどらない | 199 | 94.3% |
| 46 | セルに計算式を入力するときは，半角の等号を入力する | 179 | 84.8% |
| 47 | 計算式にセル参照を入力するとセルの値で計算される | 179 | 84.8% |
| 48 | 乗算の記号は×である | 108 | 51.2% |
| 49 | 平均の計算は，合計を個数で割る | 188 | 89.1% |
| 50 | 構成比の計算は，１つの項目の合計を全体で割る | 164 | 77.7% |
| 51 | 上半期とは１月から６月までのことである | 108 | 51.2% |
| 52 | =（Ｅ５-Ｇ５）/Ｇ５ と　=Ｅ５/Ｇ５-１ は同じである | 61 | 28.9% |
| 53 | A&14は行を固定する | 81 | 38.4% |
| 54 | 横方向にセル参照の計算式をコピーするときは，行番号を固定するべきである | 168 | 79.6% |
| 55 | セル参照を数式に入力し縦方向にコピーした場合，その位置関係を保つのは絶対参照である | 50 | 23.7% |
| 56 | ROUND関数を使って，小数点第２位まで表示させる場合，桁数に指定する数値は２である。 | 138 | 65.4% |
| 57 | 関数の引数に別の関数を指定することを関数のネストという | 130 | 61.6% |
| 58 | 数値と文字を降順に並べ替えると小さい順に並ぶ | 101 | 47.9% |
| 59 | コピーボタンを使ってセルをシートに挿入することはできない | 105 | 49.8% |
| 60 | 論理式と数式で使う演算記号は同じである | 114 | 54.0% |
| | | 133.63 | 63.3% |

**表 2　Word，Excel全問題に対する正解率**

| 種別 | 正解数 | 全問題数 | 正解率 |
|---|---|---|---|
| Word 2010 | 4,303 | 6,330 | 68.0% |
| Excel 2010 | 4,009 | 6,330 | 63.3% |
| 合計 | 8,312 | 12,660 | 65.7% |

全体を通しての正解率は65.7%のであった。

**表 3** はWord2010とExcel2010を正解率の多い順に並べたものである。Word2010での正解率のトップは，問20「拝啓と入力すると敬具と出てくるのは入力オートフォーマットが働いているからである」と問29の「蛍光ペンを使うとマーカーを引いたように文字を強調することができる」でともに96.7%であった。Excel2010では問45の「一旦削除した行や列は元にもどらない」が94.3%でトップであった。正解率90%を超えた設問はWord2010で 8 問，Excel2010で 1 問であった。

次に低い正解率を示した設問を見るとWord2010では問27「Shift+Enterで強制的にページを変更できる」で40.3%で一番低く，Excel2010では問55の「セル参照を数式に入力し縦方向にコピーした場合，その位置関係を保つのは絶対参照である」が23.7%で一番低かった。

**表 4** は両者の基本統計量である。Word2010における正解数の平均は143.4，標準偏差が43.2，Excel2010では平均が133.6，標準偏差が41.1である。正解数の分布が正規分布すると仮定すると平均±標準偏差が全体の約70%に入り，残り30%の半分の15%が上位と下位に入る。ここで平均－標準偏差の計算結果の行を追加した。この下位に入る設問についてその内容を検討する。なお，基本統計量には平均，標準偏差の他，尖度，歪度などの項目があるがここでは触れない。

Word2010の場合，平均値が143.4，標準偏差が43.2であるところから平均値-標準偏差の計算結果である100.2が下位15%ということになる。すなわち正解数が100を下回る問題については理解度が低く，改善を必要とする問題であると考えられる。同様にExcel2010で見ると133.6-41.0の計算結果から正解数92.6を下回る問題について理解度が低いとした。

Word2010で正解数が100.2を下回る問題は全部で 5 問ある。**表 3** を見ると低い方から問27，問17，問 4，問 2，問16である。問27は「Shift+Enterで強制的にページを変更できる」であるが，この操作は段落内改行の操作であって，強制的にページを変える操作はCtrl+Enterである。またショートカットではなくリボンでの改ページ操作は挿入タブのページ区切りコマンドでも可能である。Windowsでは同じ操作を行うにも複数のアプローチがありそれもコマンド理解を難しくしているのであろう。問17は「文字の幅が違うフォントをプロポーショナルフォントという」であるが，これは正解である。フォントにはMS P明朝のようにフォントの前にPのつくものとつかないものがある。付かないものを等幅フォントといいIでもMでも同じ幅であるが，Pのつくプロポーショナルフォントは文字によって幅が違い読みやすくはなるが文字幅を揃えることはできない。用途に応じて使い分ける必要がある。問 4 は「表示モードには 5 種類のモードがある」であるが，これは正解である。Word2010ではリボンの表示タブの文書の表示グループのなかに 5 種類のモードがある。通常印刷レイアウトで使用することがほとんどであるが授業のなかで何度も触れたコマンドであることを考えるともっと正解数は増えても良かったと思う。問 2 は「ファイル名に@の記号は使えない」である。ファイル名に使えない記号（OSが使用）というものがありその記号の中には入っておらず@はファイル名に含めることができる。問16「書式には文体書式と文字書式がある」であるが，正しくは文体書式ではなく段落書式である。書式には文字に対して設定するものと段落に対して設定するものがあり，この区別を理解しておかないと段落を変えるたびに文字が赤くなったりアンダーラインがついたりと苦しむことになる。書式コマンドは常に使うコマンドなのでこの区別をしっかりとしたいものである。

Excel2010で正解数92.6を下回る問題は 4 問ある。問55「セル参照を数式に入力し縦方向にコピーした場合，その位置関係を保つのは絶対参照である」。Excel2010では実数，関数，変数などを使うことができるがセルも参照することができる。セル参照を含むセルをコピーするとき相対的にセル参照をするか絶対的にセル参照をするのかを指定できる。行番号，列番号のどちらか一方を固定することもできるし両方固定することもできる。このセル参照についてはかなり難しく学生がよくつまずくコマンドでもある。このセル参照の指定を間違えたまま計算を行うと正しい解答は導き出せなくなる。とても重要なコマンドである。問52「=（E 5 -G 5 ）/G 5 と =E 5 /G 5 - 1 は同じである」。これは伸び率の計算であるがどちらも正しい。これの正解数が61で正解率が28.9%というのはかなり低い。計算の力が不足している学生が多いことがわかる。問53「A$14は行を固定する」。これもセル参照の問題で

## 表３　60題テスト結果 正解率降順

**設問：問題を読み，正しいと思えば１を，そうではないと思えば２を解答欄に入れなさい**　　**n=211**

| 問題 | 問題文 Word2010 | 正解数 | 正解率 |
|---|---|---|---|
| 20 | 拝啓と入力すると敬具と出てくるのは入力オートフォーマットが働いているからである | 204 | 96.7% |
| 29 | 蛍光ペンを使うとマーカーを引いたように文字を強調することができる | 204 | 96.7% |
| 10 | 離れた箇所の範囲指定はCtrl + ドラッグでできる | 202 | 95.7% |
| 15 | 書体のことをフォントという | 200 | 94.8% |
| 1 | ファイル名に使えない文字はあるが，全角，半角どちらでも使用可能である | 199 | 94.3% |
| 25 | スタイルを使うと様々な書式を簡単に設定できる | 195 | 92.4% |
| 28 | 段落の先頭に連番や行頭文字を挿入することができる | 195 | 92.4% |
| 8 | 読みのわからない漢字を変換するときはIMEパッドを使う | 192 | 91.0% |
| 3 | 内容を修正して上書き保存を選ぶと以前のファイルはなくなる | 185 | 87.7% |
| 19 | 一般に件名は本文より下に書く | 181 | 85.8% |
| 24 | ルビとはふりがなのことである | 180 | 85.3% |
| 30 | 文字列と同様に段落にも下線を付けることができる | 165 | 78.2% |
| 13 | Deleteを使うとカーソルの右側の字を消せる | 146 | 69.2% |
| 11 | 変換対象となった文節を注目文節という | 140 | 66.4% |
| 14 | Word では段落記号から段落記号までを段落とよぶ | 134 | 63.5% |
| 5 | リボンは通常４つのタブに分類されている | 129 | 61.1% |
| 12 | Ctrl + → で変換対象の文節を変更できる | 123 | 58.3% |
| 26 | 検索機能を使うと指定した文字列を別の文字列に一度に置き換えることができる | 123 | 58.3% |
| 9 | ：はセミコロンと読む | 117 | 55.5% |
| 21 | タブの種類には５種類がある | 116 | 55.0% |
| 18 | 初期設定では日本語も英字もMS明朝がセットされている | 109 | 51.7% |
| 23 | 禁則処理は行頭禁則と行末禁則の２つである | 105 | 49.8% |
| 6 | 現在のページ数は言語バーに表示される | 104 | 49.3% |
| 7 | 入力した文字を全角カタカナに変換するにはF６キーを押す | 102 | 48.3% |
| 22 | 通常段落の左右の余白から文字列までの位置を変更するにはタブを使う | 102 | 48.3% |
| 16 | 書式には文体書式と文字書式がある | 98 | 46.4% |
| 2 | ファイル名に@の記号は使えない | 95 | 45.0% |
| 4 | 表示モードには５種類のモードがある | 87 | 41.2% |
| 17 | 文字の幅が違うフォントをプロポーショナルフォントという | 86 | 40.8% |
| 27 | Shift + Enter で強制的にページを変更できる | 85 | 40.3% |
| | | 143.43 | 68.0% |

| 問題 | 問題文 Excel2010 | 正解数 | 正解率 |
|---|---|---|---|
| 45 | 一旦削除した行や列は元にもどらない | 199 | 94.3% |
| 49 | 平均の計算は，合計を個数で割る | 188 | 89.1% |
| 33 | 通常上書き保存をすると前のファイルの中身は消える | 185 | 87.7% |
| 34 | 作業対象のセルをクリックするとアクティブセルになる | 184 | 87.2% |
| 46 | セルに計算式を入力するときは，半角の等号を入力する | 179 | 84.8% |
| 47 | 計算式にセル参照を入力するとセルの値で計算される | 179 | 84.8% |
| 36 | 500円　と入力すると文字列として扱われる | 175 | 82.9% |
| 41 | 範囲指定をしてから入力すると，指定した範囲の中だけでアクティブセルが移動する | 175 | 82.9% |
| 54 | 横方向にセル参照の計算式をコピーするときは，行番号を固定するべきである | 168 | 79.6% |
| 50 | 構成比の計算は，１つの項目の合計を全体で割る | 164 | 77.7% |
| 39 | コロン入りの数字は時刻として扱われる | 162 | 76.8% |
| 42 | セルの中で改行することはできない | 153 | 72.5% |
| 38 | ３－２　と入力すると１と表示される | 146 | 69.2% |
| 56 | ROUND関数を使って，小数点第２位まで表示させる場合，桁数に指定する数値は２である。 | 138 | 65.4% |
| 40 | エラーインジケーターとは設定したルールに違反するセルの左上に表示される緑色の三角のことである | 137 | 64.9% |
| 35 | 名前ボックスにはアクティブセルのセル番地が表示される | 134 | 63.5% |
| 57 | 関数の引数に別の関数を指定することを関数のネストという | 130 | 61.6% |
| 60 | 論理式と数式で使う演算記号は同じである | 114 | 54.0% |
| 48 | 乗算の記号は×である | 108 | 51.2% |
| 51 | 上半期とは１月から６月までのことである | 108 | 51.2% |
| 59 | コピーボタンを使ってセルをシートに挿入することはできない | 105 | 49.8% |
| 43 | 漢数字もオートフィル機能で連続入力できる | 103 | 48.8% |
| 44 | セルの削除とデータの削除は結果として同じである | 102 | 48.3% |
| 58 | 数値と文字を降順に並べ替えると小さい順に並ぶ | 101 | 47.9% |
| 37 | ￥500　と入力しても文字列として扱われる | 97 | 46.0% |
| 31 | 初期状態では１つのブックに３枚のワークシートが用意されている。 | 96 | 45.5% |
| 32 | 通常１つのシートを１つのファイルとして扱う。 | 87 | 41.2% |
| 53 | A$14は行を固定する | 81 | 38.4% |
| 52 | =（E５-G５）/G５ と　=E５/G５-１ は同じである | 61 | 28.9% |
| 55 | セル参照を数式に入力し縦方向にコピーした場合，その位置関係を保つのは絶対参照である | 50 | 23.7% |
| | | 133.63 | 63.3% |

**表 4　基本統計量**

| | Word2010 | Excel2010 |
|---|---|---|
| 平均 | 143.4 | 133.6 |
| 標準誤差 | 7.9 | 7.5 |
| 中央値（メジアン） | 131.5 | 135.5 |
| 最頻値（モード） | 102.0 | 175.0 |
| 標準偏差 | 43.2 | 41.1 |
| 分散 | 1870.1 | 1686.9 |
| 尖度 | -1.6 | -1.0 |
| 歪度 | 0.2 | -0.2 |
| 範囲 | 119 | 149 |
| 最小 | 85 | 50 |
| 最大 | 204 | 199 |
| 合計 | 4303 | 4009 |
| 標本数 | 30 | 30 |
| 平均－標準偏差 | 100.2 | 92.6 |

ある。セル番地を絶対参照させる場合，列番号行番号の両方に$を付ける。問題では14の前に$がついているので行番号のみを固定していることになる。列番号を固定するとどうなるのか，行番号を固定するとどうなるのかについて複数の問題を実習したが，理解度は深まっていないことがわかる。セル参照についてはもっと時間をかける必要がある。問32「通常１つのシートを１つのファイルとして扱う」。Excel2010では１ブックに複数のシートを含むことができ，通常Excel2010を新規で開くと３枚のシートがセットされており，これはExcel2010を使っている学生にとっては常識と言って良い問題であるがこの問の解答数が低いのはファイルとブックが同じであることの理解ができていないことも考えられる。

## Ⅳ．考察

Word2010，Excel2010のコマンドはWord 2003，Excel 2003までのバージョンで使用されていたメニューバーからドロップダウンメニューで使用するコマンドをクリックする形式からリボンに配置されたタブの中から必要なコマンドを選びクリックするという形式に変化しており，一部修正を加えながら現在のバージョンに至っている。Word2003やExcel2003で使われてきたドロップダウンメニューもそれ以降のバージョンで用意されたリボンもともに使用頻度の高いコマンドを同じ種類でグルーピングしており，実に使いやすい形になっている。

リボンには作業に使われるコマンドが全て配置されており，またそれはコマンドの種類によってタブで区切られ，一つのグループを形作っている。

今回使用したWord2010，Excel2010ではこのリボンという形式でコマンドが配置され，使用頻度が高くよく使われるコマンドがホームタブに集められている。またキーボードのファンクションキーや文字キーにもさまざまなコマンドが割り振られおり，同じ結果をもたらすコマンドでもファンクションキーや文字キーからも実行できるショートカットと呼ばれるコマンドが割り振られている。このように便利ではあるが複雑で初心者にとって習熟するまでに時間がかかる難しいソフトウェアである。

授業ではテキストの内容に従ってWord2010，Excel2010を実際に使って色々な問題にチャレンジした。試験結果の項でも触れたように，問題に対する学生の学ぶ態度がその正解数に表れているようだ。

Word2010もExcel2010も正解数が下位のグループに入る問題については触れたが，上位グループの問題でも特に触れておくべき設問があるのでそれらの設問について考察を加えたい。問10「離れた箇所の範囲指定はCtrl+ドラッグでできる」という設問であるが，予想ではもっと下位にくるものと思っていたが，これはWord2010でもExcel2010でも共通の操作で使えるコマンドであり，授業の中でも使う頻度の高いコマンドであったことから正解数の多い結果であった。問13「Deleteを使うとカーソルの右側の字を消せる」という設問であるが，文字列を削除するキーとしてはもう一つBackspaceというキーがある。Backspaceキーはキーの左側の文字を削除することができDeleteキーは右側の文字を消すことができる。この正解数が146で正解率が69.2%は低すぎる。80%は超えてもらいたかった。問38「３-２と入力すると１と表示される」はExcel2010の入力文字を自動で判別する機能についての問題である。問46，問36，問39，問37も同様である。この入力したデータを自動的に認識し数字，文字列，日付，時刻に振り分ける。このことをよく理解しておかないと入力はしたが結果が違うというミスが起きる。

## Ⅴ．おわりに

今回は，Word2010とExcel2010の授業内容の学習を終えたところで実施した60題小テストの結果を分析した。Word2010では30題中25題，83.3%が正解数の100.2ポイントを超え，Excel2010では30題中26題，86.7%が正解数92.6ポイントを越えた。

授業に対する学生のモチベーションを上げ，ストレスなくWord2010とExcel2010を使えるよう今後の授業計画に工夫を加えていきたい。

## Ⅵ.

開示すべき利益相反（COI）はない。

## Ⅶ. 参考文献

1）大石博雄「繰り返して慣れる！ Word&Excel2010」noa出版

研究ノート

# クッキーレシピの標準化に関する研究
## －砂糖配合比の変化がクッキーの膨化に与える影響－

# Studies on Standaraization in Recipe of Cookies.
## －The Influence of Sugar Amount on Expansion of Cookies－

平　井　友　海・藤　井　　茂・栁　田　亜　美・野　原　健　吾

本研究ではスノーボールクッキーを取り上げ「標準的なレシピ」の検討および砂糖の配合比を変化させた場合の膨化に与える影響を明らかにする事を目的とした。方法は，オールインミックス法によってクッキードウを調製し，菜種置換法を用いて焼成前・後の体積を測定した。測定した体積，重量のデータより，比容積並びに膨化率を算出した。その結果，砂糖配合比が全使用重量の10%の試料において，他の試料に比して有意に膨化率，比容積ともに高値を示し，砂糖配合比の変化がクッキードウの膨化に影響を与える事が明らかとなった。さらに，スノーボールクッキーの球形を保ち，かつ膨化率が高く軽い食感のクッキーを調製するには，砂糖配合比を，全重量の10%とすることが望ましいことが示唆された。

キーワード：クッキー，膨化率，材料配合比，標準化

## Ⅰ．はじめに

菓子は，食事とは別に心に憩いを与えてくれる食べ物である。総務省統計局による平成26年度家計調査年報では，１世帯あたりの１年間に菓子類にかける支出金額は，総世帯で68,253円，勤労者世帯が72,908円と食料支出全体（792,776円）の約９%を占め，菓子類は一般家庭において大変親しまれている食べ物であることが窺える[1)]。

市販食品成分表[2)]の分類において，市販食品として一般に販売されている菓子類にはキャラメル・キャンデー･グミ類，チューイングガム類，チョコレート･チョコレート菓子類，ビスケット・クッキー類，ケーキ・パイ類など様々な種類が存在する。その中の１つであるビスケット・クッキー類は，小麦粉を主材料として油脂，乳製品，砂糖，香料などを混ぜ合わせて鉄板の上で焼いた菓子である。日本では，ビスケット類の表示に関する公正競争規約が定められており，ビスケット，クッキーについてそれぞれ定義が定められている。クッキーの定義は，「ビスケットのうち，手作り風の外観を有し，糖分，脂肪分の合計が，重量百分比で40%以上のもので，嗜好に応じ，卵，乳製品，ナッツ，乾果，蜂蜜等により製品の特徴づけを行って風味よく焼き上げたもの[3)]」である。従って，クッキーは，ビスケットに包含される位置づけである。さらに，クッキーの中にもドロップクッキー，アイスボックスクッキー，成形クッキー，ロールクッキー，絞り出しクッキー，バークッキー，サンドイッチクッキー，揚げクッキー，アイシングクッキーなど様々な種類があり，人々に親しまれているクッキーだが，材料配合や作り方はそれぞれ異なる。

クッキー材料の種類や配合比率の変化は，クッキーの品質に影響を与えることが報告されている。例えば，クッキーの基本材料に加えコーンスターチを混合使用することで，クッキー特有の「もろさ」をよくする[4)]。また，材料のショ糖を果糖，ブトウ糖（粉状，液状）に置き換えることによって，クッキーの外見的品質に影響を与えるといったものである[5)]。このように，使用材料の変化は製品の品質に影響を与える事から，許容限界内の一定品質を担保した製品を安定して生産するためには，レシピを標準化する必要がある。しかしながら，前述のように，クッキーは主材料である小麦粉に加え様々な副材料を用いるものであり，その種類も多岐にわたる。よって，ある特定の種類のクッキーに焦点を当て，副材料の配合比がクッキーの出来上がり品質に与える影響をそれぞれ見る必要がある。さらに，特定種のクッキーにおいても材料配合が微妙に異

なるレシピが多数存在することから，本研究における暫定的なレシピである「標準的なレシピ」(以下, 標準）を検討しておく必要もある。

よって，本研究では，クッキーの中でも，比較的副材料の種類が少なく，調製が容易であるスノーボールクッキーを取り上げ，複数のレシピを参考に標準の検討を行う事。並びに標準の砂糖配合比の変化が膨化に与える影響を明らかにする事を目的とした。

## Ⅱ．方法

### １．標準的なスノーボールクッキーレシピの検討

文献より資料を収集し，10種類のスノーボールクッキーのレシピを集めた[6～15]。10種類の平均値を算出し，レシピを用いて試作を行い「標準的なレシピ」の検討を行った。

### ２．砂糖の配合比の変化

検討した標準に加え，使用材料中の砂糖について，全重量の10%，15%と段階的に変更した３種類のクッキーを調製し，試料に用いた。クッキーの調製は，油脂，砂糖，薄力粉全ての材料を合わせるオールインミックス法を用い，粉っぽさが無くなった所で棒状に伸ばしラップに包んで冷蔵庫で生地を30分休ませた。次に休ませた生地を１個10gになるよう成形し，体積測定まで冷凍保存した。焼成はスチームコンベクションオーブン（株式会社コメットカトウ，CSV－G６）を用い，175℃20分の条件で行った。焼成後室温で20分静置し，荒熱が取れた時点で焼成後の重量及び体積の測定を行った。

### ３．体積の測定と膨化率，比容積の算出

体積は菜種置換法[16]を用いて測定した。本研究では計量を行う際，菜種の変わりにアズワン社製ガラスビーズ（BZ-１）を用いた。操作は，測定に用いるカップにガラスビーズを入れ摺り切った後，カップ内のガラスビーズの半量を別容器に移し，測定するクッキーを中に入れた。その後別容器に移しておいたガラスビーズをクッキーの入っているカップに戻し，摺切り，カップから溢れたガラスビーズ量をメスシリンダーで測定し，クッキーの体積とした。

上記の操作をクッキーの焼成前・後に行い，焼成後の体積で焼成前の体積を除し，100乗じて膨化率を求めた。

比容積については，焼成前または焼成後の体積を焼成前または焼成後の重量で除して算出した。

### ４．統計解析

レシピ間の膨化率及び比容積の比較には一元配置分散分析（ANOVA）を，多重比較にBonferroni法を用いた。また，焼成前後の比容積の比較には対応のあるt検定を用いた。解析にはエクセル統計2012（SSRI社）を用い，有意水準は0.05とした。

## Ⅲ．結果

### １．「標準的なレシピ」の検討

文献調査[6～15]より収集した10種類のレシピの平均値を表１に示す。

**表１　収集した10種類のレシピの平均値**

| 材料名 | 平均重量（g） | 標準偏差（g） | 最大（%）※ | 最少（%）※ |
|---|---|---|---|---|
| 薄力粉 | 156.7 | 35.4 | 60 | 33 |
| バター | 119.4 | 63.7 | 35 | 33 |
| マーガリン | 112.0 | 47.4 | 17 | 0 |
| サラダ油 | 52.0 | 16.4 | 16 | 0 |
| 卵 | 90.0 | 40.5 | 33 | 23 |
| 砂糖 | 42.0 | 20.7 | 17 | 9 |
| 塩 | 0.6 | 0.4 | 0 | 0 |

※全材料の合計量に対する割合

10種類のレシピにおいては，バター，砂糖，薄力粉を主として用いているものが見られた。また，各材料の平均値は，バター119.4±63.7g（平均±標準偏差，以下同様），マーガリン112.0±47.4g，砂糖42.0±20.7g，薄力粉156.7±35.4g，塩0.6±0.4g，卵90.0±40.5g，サラダ油52.0±16.4gであった。全材料に対してそれぞれの材料における最大，最小使用割合を求めたところ，最大値は，バター35%，マーガリン17%，砂糖17%，薄力粉60%，卵33%，サラダ油16%となり，最小値が，バター33%，砂糖９%，薄力粉33%，卵23%，であり，バターの代用品としてサラダ油を使用しているレシピが１種類，マーガリンを使用しているレシピが１種類見られ，卵を使用しているレシピは２種類見られた。さらに, 油脂類を２種使用しているレシピが見られた。よって，油脂類を２種用いているレシピを除く９種類のレシピの平均値を用いて使用する油脂類をバターと

して試作を行った所，生地が柔らかく形成できなかった。このことから卵を使用しているレシピが２種類であったことから，レシピの平均値より卵を除いたもので試作を行い，スノーボールクッキーの形状に形成可能であることを確認し,「標準的なレシピ」を定めた(表２)。

**表２　標準的なスノーボールクッキーのレシピ**

| 材料名 | 重量 (g) | 全材料に対する割合 (%) |
|---|---|---|
| 薄力粉 | 160 | 49.9 |
| バター | 120 | 37.4 |
| 砂糖 | 40 | 12.5 |
| 食塩 | 0.5 | 0.2 |

２．焼成前後の重量および体積の比較

焼成前後の重量変化を図１に示す。標準，砂糖10%，砂糖15%それぞれについて，焼成前より焼成後の方が有意に減少していた（p＝0.000)。また，体積は標準，砂糖10%，砂糖15%それぞれ焼成前より焼成後に有意に増加していた（p＝0.000）（図２)。

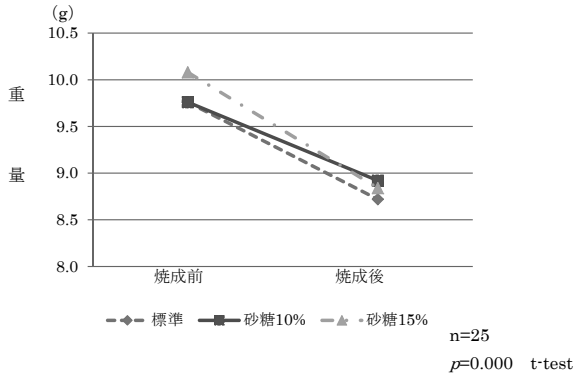



**図１　焼成前後の重量変化**

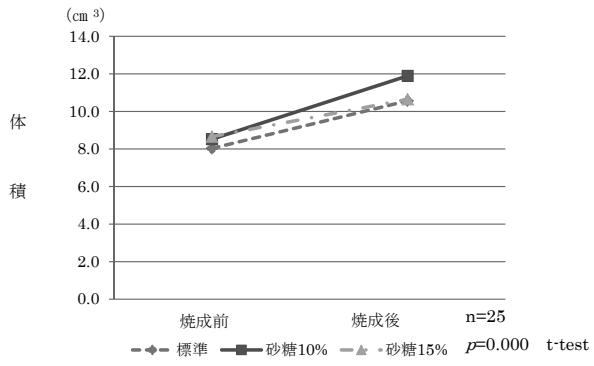



**図２　焼成前後の体積の変化**

３．膨化率の比較

膨化率（平均±標準誤差）については，砂糖15%に比して標準，砂糖10%で高い膨化率を示した（p＝0.000)。また，標準と砂糖10%においては有意な差は見られなかった（図３)。

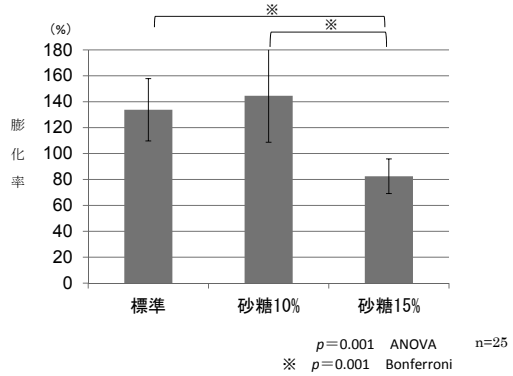



**図３　試料別の膨化率の比較**

４．焼成後の比容積の比較

焼成後の比容積については，標準（p＝0.013)，砂糖15%（p＝0.009）に対して砂糖10%で有意に高い結果であった。標準と砂糖15%の間には有意差は見られなかった（p＝1.00）（図４)。

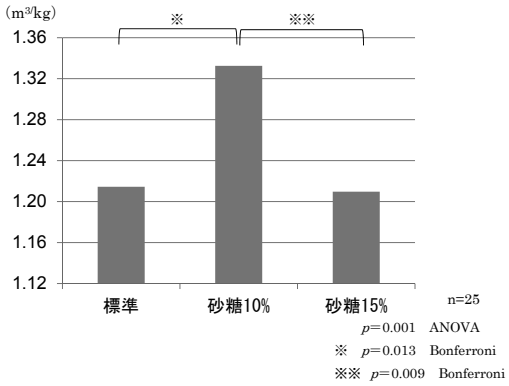



**図４　レシピ別の比容積の比較**

Ⅳ．考察

菓子には様々な種類があり，その中のクッキーにも数多くの種類が存在する。今回のレシピ収集の結果より，スノーボールクッキーとして紹介されているレシピにおいても，多くの種類が存在することが明らかとなった。これは，調理者が喫食者の状態，費用や材料の入手可能性といった様々な要因から独自に少しずつレシピを変化させて調理を行っている可能性に起因す

るものと考える。

様々なレシピが存在する中で，本研究では「標準的なレシピ」を検討し，それを基準として砂糖を全重量の10％と全重量の15％に調製し検討を行った。その結果，焼成前後の重量及び体積については，標準，砂糖10%，砂糖15%のいずれも同様の変化を示し，焼成によって，重量は有意に減少し，体積は有意に増加した。このことから，いずれの試料においても重量の現象と体積の増加があったことから，膨化している事が示された。

次に，試料別の膨化率の比較については，砂糖15%に比して，他の試料で有意に高い膨化率を示した事から，全使用材料の15%以上の砂糖添加量となると，膨化率が低下し，クッキーの品質に影響を与える事が明らかとなった。これは，焼成中のクッキーの形状に及ぼす糖の影響として，砂糖の添加量が多いとクッキードウの流動性が高くなり，クッキーの形状が扁平形を呈する事に起因すると考える[17)]。

比容積については，砂糖10％の試料において，他の試料に比べ有意に高い値を示した。これは，砂糖使用量を全材料の10%にすることによって，単位重量あたりの気泡含有率が高く軽い食感の仕上がりになることを示唆するものである。よって，焼成後に球形を保つことができ，かつ軽い食感で品質の良いクッキーを調製するためには，砂糖の使用量を全重量の10％程度にする必要があることが示された。

本研究の限界は，検討に用いた砂糖が１種類であることである。砂糖には上白糖，グラニュー糖，白双糖，三温糖，中双糖など様々な種類があり，その形状や含有するミネラル等に違いがある。よって，今後は砂糖の種類の影響について検討する必要があると考える。

今回の研究では砂糖について検討を行ったが，今後スノーボールクッキーのレシピの標準化を行うにあたり，主要材料である薄力粉と油脂の配合比についても検討する必要がある。特に薄力粉については，先行研究において小麦粉中の乾麩量（グルテン含量）が少なくなるにつれ，クッキーの直径，厚さ，みかけの膨化率ともに大となることが示されている[18)]。よって，今後研究を進めていくにあたって材料の性質についても考慮の上で検討する必要がある。

## Ⅴ．結論

スノーボールクッキーの球形を保ち，かつ膨化率が高く軽い食感のクッキーを調製するには，砂糖配合比を，全重量の10％とすることが望ましいことが示唆された。

## Ⅵ．謝辞

本研究を行うにあたり，実験にご協力下さいました本学卒業生高橋実幸氏，大高麻衣氏に深謝いたします。

## Ⅶ．文献

1）総務省統計局：「平成26年度家計調査年報」http://www.e-stat.go.jp/SG１/estat/List.do?lid=000001129456（2015.11.26）
2）香川芳子監修：会社別・製品別市販加工食品成分表改定第８版, 女子栄養大学出版部, 東京, 2005, 4.
3）杉田浩一, 平宏和, 田島眞, 安井明美：日本食品大辞典, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2008, 593－594.
4）川染節江, 石間紀男, 吉川誠次：クッキーの原料配合比と食味の関係について, 家政学雑誌, 1971, 22, 41－47.
5）L.C.DOESCHER and R.C.HOSENEY：Effect of Sugar Type and Flour Moisture on Surface Cracking of Sugar-Snap Cookies, Cereal Chem, 1985, 62（４）, 263－266.
6）小田真規子：おいしさのコツが一目でわかる　基本のお菓子, 成美堂出版, 東京, 2014, 95.
7）主婦の友社編：はじめてのお菓子作り, 主婦の友社, 東京, 2013, 82.
8）主婦の友社編：世界一かんたんな手作りお菓子, 主婦の友社, 東京, 2011, 16.
9）食のスタジオ編：はじめてでもおいしくできる！基本のお菓子87選, 西東社, 東京, 2012, 72－73.
10）中村佳瑞子：材料がひと目でわかる！手作りお菓子手帖 よくばりレシピ320, 主婦の友社, 東京, 2015, 58.
11）信太康代：お菓子作りの基礎, ブティック社, 東京, 2002, 9.
12）講談社編：家庭料理全集〈華〉第４巻・お菓子とデザート, 講談社, 東京, 1987, 120.
13）栄養と料理家庭料理研究グループ編：初めての手作り お菓子とパン（基本の基本シリーズ）, 女子栄養大学出版部, 東京, 1988, 17.
14）飯塚有紀子：やさしいお菓子 すべての手順が写真でわかる10枚レシピ, 雷鳥社, 東京, 2013, 106.
15）田辺由布子：ホームメイドクッキー, 家の光協会,

東京, 2001, 56.
16）山木一史, 清水英樹, 岩下敦子ら：道産米を用いた微細米粉の製造と加工利用, 北海道立食品加工研究センター報告, 2007, 7, 17－20.
17）倉賀野妙子, 和田淑子, クッキーの膨化における小麦でんぷんの役割, 日本家政学会誌, 1994, 45（10）：899－907.
18）赤羽ひろ, 和田淑子, クッキーの性状におよぼす小麦粉中のグルテン含量の影響, 日本食料学会誌, 1987, 34, 474－480.

報告

# 保育者養成系短期大学におけるキャリア教育のカリキュラム開発・実践・評価に関する研究（2）

# A Study of Curriculum Development, implementation and evaluation of Carrier Education in the Training Course of Kindergarten Teachers, Child Care Workers（2）

森　下　　剛・古　木　竜　太・西　田　咲　希

本研究では，保育者養成系の短期大学２年次におけるキャリア教育のカリキュラム開発と実践，評価基準の作成過程について報告する。教養科目として必修化されたキャリア教育の実施にあたり，１年次の「キャリア教育Ⅰ」の内容を踏まえ，２年次における「キャリア教育Ⅱ」のカリキュラム開発の手続きと内容を示した。その結果，「キャリア教育Ⅰ」「キャリア教育Ⅱ」のカリキュラム開発が完成し，入学から卒業まで学生のキャリア形成を支援・指導するための枠組みが完成したと言える。今後の課題は，「キャリア教育Ⅱ」のカリキュラムの内容について，PDCAサイクルによる改善や教育効果を測定するツールを開発することであり，キャリア教育の評価表についても信頼性と妥当性を追究する必要がある。今後は，「キャリア教育Ⅰ」「キャリア教育Ⅱ」の評価とGPAの関連性などを検討することによって，より正確なキャリア教育の評価が可能になると考えられる。

キーワード：キャリア教育，カリキュラム開発，ルーブリック

## Ⅰ．はじめに

今日，各学校段階におけるキャリア教育の重要性が指摘されている。高等教育機関におけるキャリア教育については，「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」(文部科学省．2011)の中で，「各機関の教育機能及び各学校の教育方針や，学生・生徒一人一人の状況にも留意しながら，キャリア教育の推進に関する方針を明確化し，教職員の理解の共有を図った上で，全学的な取り組みを推進することが必要である」（p.31）と指摘し，入学から卒業までを見通したキャリア教育や，キャリア教育を教育課程内に位置付けることを推奨している[1)]。

森下・古木（2015）は，保育者養成系短期大学１年次におけるキャリア教育のカリキュラム開発と実践，評価基準の作成について報告を行った[3)]。本研究では，それを踏まえたうえで，保育者養成系短期大学２年次におけるキャリア教育のカリキュラム開発と実践，評価基準の作成を試み，報告する。

## Ⅱ．「キャリア教育Ⅱ」のカリキュラム開発

「キャリア教育Ⅱ」のカリキュラム開発は，本学「キャリア委員会」において行われた。キャリア委員会は，本学の専任講師で構成される委員会組織である。2015年度の委員は，幼児保育学科３名，健康栄養学科４名，および本学のキャリア支援を行う「学務課学生支援担当」の事務職員１名の計８名から構成され，委員長は第一著者が務めた。委員会は月に１回の頻度で開催され，必要に応じて「キャリア教育Ⅱ」のカリキュラム開発が議題にあげられ，検討を行った。

### （１）授業概要－Syllabus－の作成

2015年度の「キャリア教育Ⅱ」の授業概要を表１に示した。本学幼児保育学科では，就職活動のピークが10月から11月であることを考慮し，授業内容の順番や内容を検討し，授業計画を作成した。

### （２）中央教育審議会答申案と「キャリア教育Ⅱ」の授業内容

中央教育審議会は，社会的・職業的自立，学校から

**表１　2015年度の教養科目「キャリア教育Ⅱ」**

| 必修・選択の別:卒業必修/開講時期：２年次通年/授業形式：講義・演習 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 授業計画 | | | | |
| 回 | 項　目 | 授業内容 | 具体的実施内容・課題 | 図１の対応する要素 |
| １次<br>（４月） | キャリアデザインの見直し | オリエンテーション期間を通して１年間のキャリアプランニングを行う | オリエンテーションにて「キャリアプランニングシート」など作成 | ①キャリアプラン<br>②課題対応能力 |
| ２次<br>（４/13） | 進路決定までの流れ | 望ましい進路決定について考察する | 行動計画シートの作成 | ①キャリアプラン<br>②課題対応能力 |
| ３次<br>（４/20） | 求人票と必要書類 | 求人票の見方と必要書類の手続きについて具体的な知識を身につける | 求人票の必要情報の捉え方と必要書類の準備の仕方について知る | ②課題対応能力<br>⑧勤労観・職業観 |
| ４次<br>（６/22） | ビジネスマナーⅠ | 就職活動等での望ましい身だしなみや態度について身につける | 望ましい身だしなみを実践し，態度について考察する | ②課題対応能力<br>⑦意欲・態度 |
| ５次<br>（７/６） | ビジネスマナーⅡ | 就職活動等での望ましい表記方法や言葉遣いについて身につける | 望ましい言語表記法について課題を行い，言葉遣いについて実践する | ②課題対応能力<br>⑦意欲・態度 |
| ６次<br>（５/11） | 履歴書の作成Ⅰ | 履歴書の正しい書き方について身につける | 履歴書の下書きを行い，必要事項の正しい書き方を身に付ける | ②課題対応能力 |
| ７次<br>（５/25） | 履歴書の作成Ⅱ | 個人の特徴の書き方について考察する | 履歴書の下書きを行い，個人の特徴等の望ましい書き方を身に付ける | ③自己理解<br>⑤論理的思考力 |
| ８次<br>（６/15） | 面接試験の受け方 | 面接の心構えと質問への答え方について考察する | 面接DVDを視聴し，面接の心構えを築く | ②課題対応能力<br>④人間関係・社会 |
| ９次<br>（10/６） | 実技試験の受け方 | 実技試験のポイントについて理解する | ピアノの実技試験や保育実技試験の内容等について | ②課題対応能力 |
| 10次<br>（12/21） | 就職活動の振り返り | 就職活動を振り返っての反省や課題を明確にする | 就職活動を振り返って，努力した点や今後の課題を発見する | ③自己理解<br>⑦意欲・態度 |
| 11次<br>（１/18） | 進路決定後の過ごし方 | 進路先決定後に準備すべきことについて課題を明らかにする | 進路決定後の過ごし方や就職までに準備すべき点を明確にする | ①キャリアプラン<br>⑧勤労観・職業観 |
| 12次<br>（１/25） | 社会人としての使命感 | 社会人としての使命感について考察する | 社会人として社会にどのように貢献できるかを明確にする | ⑥創造性<br>⑧勤労観・職業観 |

※「図１の対応する要素」とは，中央教育審議会の答申案「社会的・職業的自立，社会・職業への円滑な移行に必要な力の要素」（本稿図１）で示した要素を意味する。表中は一部略称であり，正式名称は，①キャリアプランニング能力，②課題対応能力，③自己理解・自己管理能力，④人間関係・社会形成能力，⑤論理的思考力，⑥創造力，⑦意欲・態度，⑧勤労観・職業観等の価値観である。

社会・職業への円滑な移行に必要な力の要素として，「キャリアプランニング能力」，「課題対応能力」，「自己理解・自己管理能力」，「人間関係形成・社会形成能力」，「論理的思考能力」，「創造力」，「意欲･態度」，「勤労観・職業観等の価値観」があると考えている[2)]（図１）。キャリア委員会では，中央教育審議会の考えに基づき，各構成要素を授業計画にどのように反映させるか検討した。例えば，キャリアプランニング能力に関する授業内容は，第１次の「キャリアデザインの見直し」および，「進路決定までの流れ」，「進路先決定後の過ごし方」の授業内容に対応させている。図１で示した各要素は，授業内容により重複することもある。

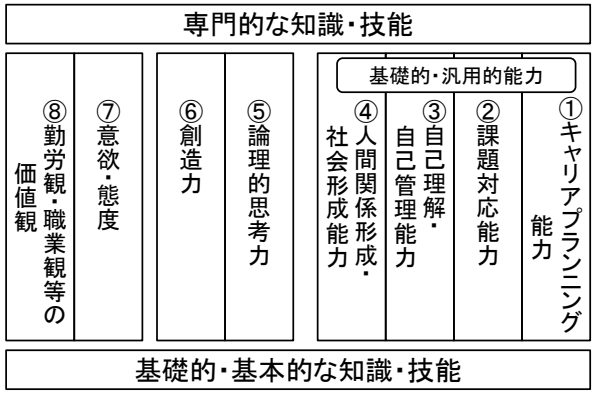



**図１　「社会的・職業的自立，社会・職業への円滑な移行に必要な力」の要素**

※中央教育審議会の答申案「今後の学校教育におけるキャリア教育・職業教育の在り方について.
第１章キャリア教育・職業教育の課題と基本的方向性.
27頁」より，第二著者が一部加筆して作図

## Ⅲ.「キャリア教育Ⅱ」の授業実践報告

「キャリア教育Ⅱ」の授業は，2015年度４月より行われた。授業担当者は本学の専任教員である。カリキュラムの内容について専門性を有する教員が授業を担当するとともに，第二著者である２学年の学科長補佐を中心とする担任教員もカリキュラムの実施に参画した。

なお，本科目を受講する学生は，１年次に森下・古木（2015）によって報告された「キャリア教育Ⅰ」を受講している[4)]。

### １．キャリア委員会委員長講話

オリエンテーション期間中にキャリア委員会委員長より「よりよいキャリア選択のために」というテーマで講話があった。以下，キャリア委員会委員長の授業内容を記述する。

キャリアとは，「人が生涯の中で様々な役割を果たす過程で，自らの役割の価値や自分と役割の関係を見出していく連なりや積み重ね（文部科学省．2011年）」であり，人としての生き方を意味するものである。そこで，人生における役割を考えてみると，社会的（公的な）役割として，例えば自らの身分を「私は○○（学校名）の学生です」，「私は○○（会社名）に勤めています」と紹介する場合がある。これは，学生や社会人として，社会的に役割を果たしているということになる。次に，学生と社会人の違いを考えると，学生は学費（お金）を払い，授業内容など納得がいかないときは不平を言うこともできる。それに対して，社会人は自らの労力で賃金を得て，顧客（対象となる人）に満足してもらえるよう努力する。時には不平を言われることもあるかもしれない。このような違いがあることを自覚し，学生から社会人になるためには，心構えや準備が必要とされる。そこで，卒業年次の２年生では，「３つの“あ”（あわてない，あせらない，あきらめない）」を心構えとして，キャリア選択を考えることが大切である。「あわてない」とは，余裕をもって準備すること，「あせらない」とは，進路を早く決めるより，働きたい職場を見つけること，「あきらめない」とは，たとえ不採用の結果になっても，面接内容などを振り返り，気持ちを切り替えて挑戦し続けること。そして，最後に卒業後の進路を決めるのは自分自身だが，自分一人で考えるのではなく，担任や学生支援担当職員に相談しながら，進路実現を目指してほしいと学生にメッセージを送った。

### ２．キャリア形成に関するレポートの取り組み

まず始めに，学生は１年生の４月に記述したレポート（短大２年間の自己目標，キャリアデザインシート，自分史ワークシート）を参考資料にして，本学１年間の学生生活を振り返った。そして，卒業年次である短大２年生としての学生生活をどのように過ごすかについて考え，「人間性豊かな保育士となるために」というテーマのレポートおよび，キャリアデザインシート（２年次用）を作成した。

「人間性豊かな保育士となるために」のレポートについて，第二著者が担任をしているクラスの記述内容を抜粋して表２に示した。これを見ると，いくつかのキーワードが見出される。それは，「思いやり」「相手の立場で物事を考える」「他者（子ども）の気持ちを理解すること」である。学生は，本学に入学してから１年間，保育に関する知識を学び，ピアノや手遊びなど，保育技術の向上に励んだ。実習は幼稚園で１週間，保育所で12日間行い，一部の学生は施設での実習も経験した。授業で学んだこと，実習の経験を踏まえて「人間性豊かな保育士とは？」と考えたとき，多くの学生は「思いやる気持ちが大切」だと考えていることが分かった。また，「コミュニケーション」という記述も複数あった。近年はコミュニケーションが苦手と感じている学生が散見される。おそらく，学生は実習を経験したことで，コミュニケーションに対する苦手意識を実感するのではないだろうか。目上の人に対する適切な言葉遣いができない，場に応じた言葉遣いが分か

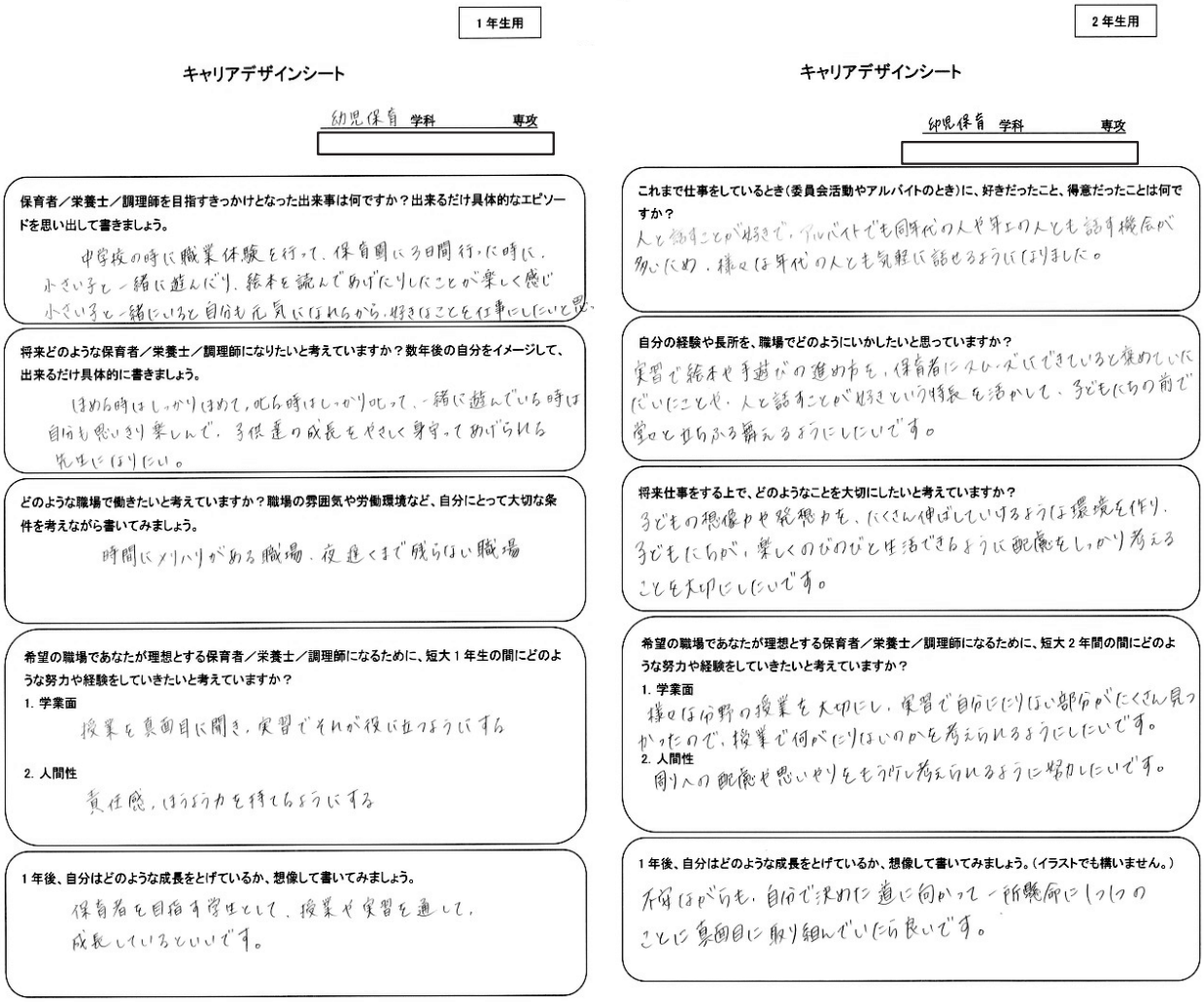
**表 2 レポート「人間性豊かな保育士となるために」の記述内容（抜粋）**

| | |
|---|---|
| A.H | 人間にしか伝え合うことができない優しさだったり，自分より相手を思いやる気持ちを伝えることが上手な人 |
| A.M | 思いやりがあり，人の立場に立って行動できること，色々なことに感動できる心を持つこと |
| A.M | ・人の気持ち，痛みが分かる人になることと，言動が利己的ではない人/・人間性=人格=心だと思うので，自分の内面を見つめ直し，良くないと思う部分を変える努力をする |
| A.T | ・日々の生活から様々なことに気づけることが大切だと考える/・提出物や集合時間に遅れないこと，時間を守ること/・挨拶，思いやりと優しさをもって人に接することも大切だと考える/・身だしなみ。毎日の生活の中から身だしなみを心がけたい |
| A.T | 相手のことを常に考えられる人になりたい |
| A.U | 柔軟性を身につけ，臨機応変な対応ができるようになることが大切 |
| H.S | 人間性豊かな人とは，①挨拶・お礼を忘れない　②相手の立場になってものを言う　③笑顔　④他者の幸せを自分のことのように喜べること　⑤いくつになっても学ぶ姿勢を忘れないこと　私の祖母はそのような人でした |
| J.Y | ・当たり前のことを当たり前にできること，挨拶，時間厳守，言葉遣いなど/・建学の精神である，誠実，研鑽，慈愛，信頼，和睦を心がけていくことも人間性豊かな保育者になることにつながっていくと思う |
| K.G | ・挨拶，相手の考えを理解すること，相手の考えを受け入れること，否定しないこと/・当たり前のことを当たり前に行い，繰り返すこと（挨拶，マナー，言葉遣い）/・周囲への気配り/・人間性が豊かになると，信頼関係を気づくことにつながる |
| K.I | 自分のことを理解することが必要，自分自身を見つめ直すことは難しいが，良い点は伸ばし，悪い点や苦手なことは直せるようにしていきたい |
| K.M | 臨機応変に動けるように視野を広く持つことや人との関わり，コミュニケーション能力が大切 |
| K.M | 他人に対しての思いやりを持てることや，親身になって物事を一緒に考えることができる人 |
| K.S | 優しく，向上心があり，素直に他者の話を聞くことができる人 |
| M.A | ・コミュニケーション能力/・人の心を思いやる心 |
| M.H | ・普段の授業に休むことなく積極的に授業に臨むこと/・残りの実習で多くを学び，自分に足りないものを見つけ，改善できるよう真面目に励むこと/・保育の知識だけでなく，社会に出たときに必要なマナーやルール，言葉遣い，挨拶など，常識のある行動をいつでもできるようにすること |
| M.K | 積極的に人とコミュニケーションをとることが大切 |
| M.K | ・人間として当たり前のことを当たり前にする，できること（挨拶や気遣い）/・人への思いやりを持つこと |
| M.N | ・「人間性」の言葉の意味にある，生まれつき備えている特有の性質や人間らしさを高め，子どもたちの良い見本となれるように少しずつでも成長していくこと/・保育者となるための知識をより多く増やし，それを深めること/・保育を行う上で不可欠な技術の向上 |
| M.S | 自己理解に努め，相手のことを思いやる気持ちを大切にし，色々な人とのコミュニケーションを図り，自分の理想とする保育者像を考えていきたい |
| M.U | ・人との関わりを大切にすること/・実習を通して短大生活の中で知識や技術をしっかりと身につけること。幼稚園，保育園，施設での実習を経験し，それぞれの特徴について，さらに学んでいきたいと感じた。 |
| M.Y | 子どもの気持ちを理解し，その気持ちを子ども自身から引き出すことが大切 |
| N.A | 国際学院の教育方針「礼をつくし，場を清め，時を守る」を習慣化すること |
| N.S | ・何より第一に子どもたちのことを考え，子どもたちのために保育をすること/・今の私の課題は，「行動に移す」こと/・失敗を恐れずに，様々なことにチャレンジできるよう頑張りたい |
| R.W | ・読書（１ヶ月に４冊を目標にしたい）/・否定的，ネガティブな発言は控える/・毎日一つ目標を立てていきたい/・自分の身近な人間性豊かな人を観察していきたい |
| S.K | ・人に思いやりをもって接することを常に意識して人と向き合っていきたい/・子どもたちから見て，恥ずかしくないような人になろうと思う/・残りの実習では，今までの反省を活かして前向きに明るく取り組んでいきたい |
| S.O | 日頃から誰にでも思いやりをもって生活し，何事も積極的に行動すること。保育所や幼稚園は子どもたちにとって，初めての社会生活を学ぶ場所となります。保育者が子どもたちに与える影響は大きいものなので，「豊かな人間性」や「人を思いやる心」は，決して忘れてはいけないことです |
| T.O | ・ピアノについて，童謡を引き続き努力したい/・１年生は皆勤だったので，２年生も皆勤を目指したい/・コミュニケーション/・明るく・元気な保育士になれるように頑張りたい |
| Y.K | 日々の生活の中で「差別をしない」「どんな人とも付き合えるように」「どんな人とも仲良く」「どんな時でも穏やかにいる」など，人間として尊敬されるように心がけることが重要 |
| Y.K | 子どもの心をしっかり理解できる力と知識と技術の向上が必要 |
| Y.M | 相手を思いやることができたり，正義感や責任感をもって行動したり，一人ひとりの個性を受け止めたりできる人 |
| Y.N | ・人の痛みがわかって，人の立場になって物事を考えられる人/・失敗をしても前向きな考えでそこから何か新しいことを見つけられること/・その新しいことに感動できること |
| Y.S | ・人との出会いやコミュニケーションの場を大切にし，年齢や性別の関係ない様々な人と積極的に関わっていこうと考えている/・自らの性格を理解し，，互いに気持ちの良い会話ができるように心がけるつもりである/・失敗から学べることもあると信じ，怖気づくことなく，様々な人と積極的に関わろうと思う |

らないために積極的に働きかけることができない学生も見受けられる。これは，コミュニケーションを自らの課題とする学生の傾向と捉えられる。

次にキャリアデザインシートに着目すると，１年生用と２年生用で設問がやや異なる（資料１）。１年生用は，①保育者／栄養士／調理師を目指すきっかけとなった出来事は何ですか？出来るだけ具体的なエピソードを思い出して書きましょう。②将来どのような保育者／栄養士／調理師になりたいと考えていますか？数年後の自分をイメージして，出来るだけ具体的に書きましょう。③どのような職場で働きたいと考えていますか？職場の雰囲気や労働環境など，自分にとって大切な条件を考えながら書いてみましょう。④希望の職場であなたが理想とする保育者／栄養士／調理師になるために，短大１年生の間にどのような努力や経験をしていきたいと考えていますか？（1.学業面／2.人間性）⑤１年後，自分はどのような成長をとげているか，想像して書いてみましょうという設問である。

それに対して，２年生用は，①これまで仕事をしているとき（委員会やアルバイトのとき）に，好きだったこと，得意だったことは何ですか？②自分の経験や長所を，職場でどのようにいかしたいと思っていますか？③将来仕事をする上で，どのようなことを大切にしたいと考えていますか？④希望の職場であなたが理想とする保育者／栄養士／調理師になるために，短大２年間にどのような努力や経験をしていきたいと考えていますか？（1.学業面／2.人間性）⑤１年後，自分はどのような成長をとげているか，想像して書いてみましょう（イラストでも構いません）という設問である。ここでは，１年生用と２年生用で同じ設問の「⑤１年後，自分はどのような成長をとげているか，想像して書いてみましょう」に着目したい。「人間性豊か




資料１ キャリアデザインシート　（左：１年生用／右：２年生用）

な保育士となるために」のレポートと同様に第二著者が担任をしているクラスの記述内容を抜粋して**表３**に示した。

１年生（当時2014年４月14日）の頃は,「専門的知識・技術の向上」「免許・資格の取得」に象徴されるように，ほとんどの学生が今の自分よりも成長している，あるいは成長するために努力しているという内容の記述であった。具体的には，ピアノの技術向上を目標にしている学生が34名中７名いた。加えて本学はクラス制による学生支援に取り組んでいることから，「今よりも仲良くなり，クラスの絆を深めたい」という，クラスメイトに関する記述も複数みられた。入学当初の学生は，保育に関する学びをクラスメイトと共に取り組もうとする意欲的な姿勢が見受けられた。

２年生（当時2015年４月13日）になると，「子どもに慕われる保育者」「子どものお手本になるような保育者」「子どものことを一番に思い，子どもや先生からも信頼されている保育者」のように，理想とする保育者像を思い描く記述内容が特徴的にみられた。一方で，「今よりも働くことに対して意識が高くなっていて，社会人のマナーを守れている」「一人前の社会人になっていたい」「多少は大人になり，社会人に成長する」といった「社会人」「社会性」「社会のマナー・ルール」に関する記述内容もあり，社会人としての自覚を自ら促していた。また，記述量について，一年前と比較すると少ない傾向にある。これは，卒業後の進路を具体的に考えるほど，漠然とした焦りや不安を感じているからだろう。本学において１年間，授業や実習に取り組み，保育者という職業の大変さを経験したからこそ，実感できる悩みや不安に起因して記述量が減少したと省察する。

### ３．卒業年次における進路決定までの流れ

2015年４月13日に「進路決定までの流れ」というテーマで授業を行った。授業担当者は，各クラスの担任教員である。以下，授業内容について記述する。

キャリアノートブックを資料として，進路決定までの流れを確認した。幼稚園または保育所への就職を希望する場合，求人票の確認，園見学，受験する園の決定，履歴書作成，必要書類の準備（提出含む），面接・実技試験などの練習，受験，内定届・受験報告書の提出（学内），誓約書など書類の提出（就職先）がある。このような活動について，学生は「１年間の行動計画シート」（**資料２**）を作成し，就職活動の流れを客観的に把握する。例年，多くの学生は10月下旬から11月までに内定を得ている。日々の授業や実習（８月・９月），体育大会（５月），研修旅行（６月），大学祭（11月）と並行しながら就職活動を進めていくことになる。そこで，多忙な学生生活と就職活動を両立させることや就職活動の準備と進め方について具体的なイメージを持つことを目的として，「１年間の行動計画シート」を作成した。２年次前期は保育実習（８月），教育実習（９月）の準備が中心となり，実習中の評価が就職に繋がる事例もある。そこで,求人票を確認しながら，以下について助言した。①まずは実習の準備に集中すること。②履歴書は志望動機以外の箇所について，一度下書きをしてみる。③園見学は全ての実習が終えてからでも遅くはない。学業と就職活動を並行して進めるためには，自らが取り組むべきことの順番とタイミングの見極めが大切なのである。

### ４．求人票と必要書類について

2015年４月20日に「求人票と必要書類」というテーマで授業を行った。授業担当者は，各クラスの担任教員である。以下，授業内容について記述する。

求人票から読み取れる情報について担任教員より説明があった。数年前は，幼稚園または保育所のどちらで働きたいか決めるようにという就職指導が一般的であったが，近年では認定こども園も増えていることから，幼稚園教諭または保育士のように職種を選ぶこと自体難しいこともある。また，待機児童解消など子育て支援の取り組みにより，新たな保育所の開園も増えているが，同じ法人の保育所でも勤務地が異なる場合もある。自宅から通いやすいという理由で受験した園でも，内定後の人事によって遠方の姉妹園への配属になるという事例もある。特に複数の地域において運営している園は，配属先が希望通りにならない場合もあることを想定して，予定勤務地住所を確認するよう助言している。

次に「随時」という言葉の解釈について，園見学や試験日が「随時」と表記されている求人票も少なくない。これはできるだけ早く人材を確保したいという園の意図が反映されたものと推察する。このような随時募集を「いつでも良い」と解釈するマイペースな学生もいる。そこで，随時募集は後手に回らないよう，できるだけ早く行動することを念頭に指導している。

### ５．外部講師を招いた授業

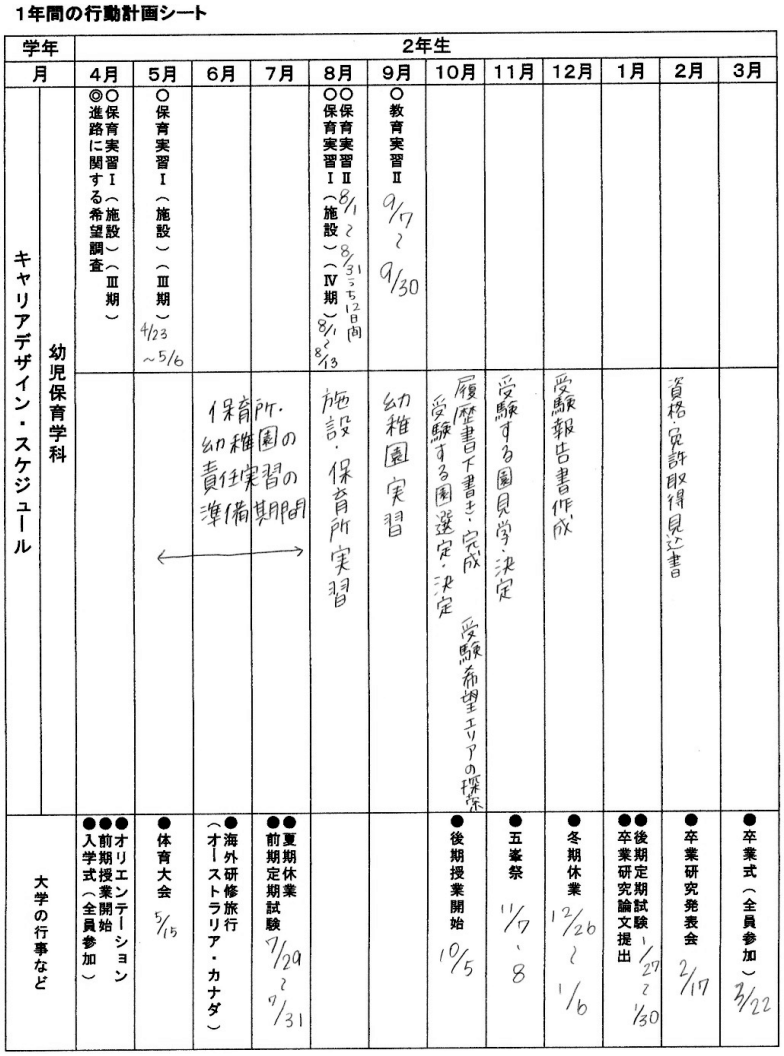
（１）就職活動の心構えについて

ハローワーク大宮の埼玉新卒応援ハローワーク学卒

**表３　「キャリアデザインシート」の記述内容（抜粋）**

| | １年生用（2014年４月14日） | ２年生用（2015年４月13日） |
|---|---|---|
| M.A | ・いろんな知識を身につけていたらいいなと思う | ・子どもに慕われるような保育者（イラストあり） |
| N.A | ・周囲の人たちを笑顔にできるような人間になっている（なりたい）<br>・ピアノが今より上手に弾けるようになっている | ・今よりももっと笑顔の絶えない生活をしている<br>・ピアノが上達している |
| K.W | ・自分のことだけでなく，他人のことも考えられる人になっていたいな… | ・挨拶をしっかりし，明るく笑顔で子どもや保育士と関わり，積極的に行動している! |
| M.U | ・幼稚園実習や保育所実習を重ね，たくさんの絵本や手遊びを学び，より一層将来の夢に向かって努力をしている | ・就職活動を終え，就職先が決まり短大２年間で学んだことを活かし，保育者として現場で学んでいると思う。<br>・目標を立て，さらに努力をしていると思う |
| S.O | ・資格もとれていて，１年生のときよりも成長できればいいなと思います<br>・立派な保育士さんになるために努力していると思います | ・子どもたちとたくさんコミュニケーションをとり，子どものお手本になるような保育者になっていると思う |
| T.O | ・クラスの皆と仲良くなり，ピアノは少しだけ上手になっていると思う | ・幼稚園教諭，保育士になって，今（４/13）よりもたくさんの童謡を弾けるようになっている |
| Y.K | ・人前でも堂々としている人 | ・自信を持って安心，安全と言える人 |
| M.K | ・今よりもみんなと仲良くできて，そして，子どもたちの前で明るく元気に振る舞っているといいなと思います | ・自分らしく<br>・ポジティブ |
| Y.K | ・専門性を高め，保育者として自覚をしっかり持った自分に成長していてほしいです! | ・（元気で明るく，子どもに好かれる先生）※イラストのみ，文章なし |
| K.G | ・実際の保育園や幼稚園を見て，自分に合っている現場を見つけていること<br>・子どもとふれあえるだけの技能をもっていること | ・社会人になっているはず |
| S.K | ・ピアノをしっかりと弾けるようになりたい | ・前向きで頑張りたい |
| M.S | ・勉強して専門的知識を身につけ，実習も経験して今よりも少し，夢に近づけ，もっと自覚を持っていると思う | ・社会人として進み始める |
| N.S | ・保育者になるために努力して理想に近づいていればいいなと思います<br>・人としても成長できればいいです | ・２年間，保育について学び専門知識と社会性を身につけ，自分の目指す先生になれたらいいです（イラストあり） |
| H.S | ・ピアノで童謡など弾きながら歌えるようになっている!<br>・保育の知識を身につけて実際に子どもたちと触れ合ったときにきちんと実践することができている!そうなってほしい! | ・何の仕事に就いているのか，今は想像することができません。でも，自分で選んだ仕事を楽しみながらやっているといいなと思います<br>・後悔のない選択をしていきたいです |
| K.S | ・課題は出されたその日からとりかかる<br>・規則正しい生活になっている<br>・ピアノのスキルが上がっている | ・保育士になり，何も分からない状態だが一生懸命頑張っている |
| Y.S | ・資格取得に励んだ達成感<br>・体育大会や五峯祭など全力を尽くし，仲間との絆を得る<br>・今よりは少し良くなった人間性と専門性 | ・頑張ろう（イラストあり） |
| A.T | ・できることが増えてるといいです | （記述なし） |
| A.T | ・１年間，授業や実習で学んだことを身につけ，少しでも夢へと近づけたらいいなと思います | ・子どものことを１番に思い，子どもや先生方からも信頼されている保育者になっている |
| M.N | （記述なし） | ・無限の可能性（イラストあり） |
| Y.N | ・子どものことについて今よりも知識が深まっている<br>・ピアノなどの技術も向上している | ・１年後，社会のルールを守り，笑顔で仕事ができる人間に成長をとげていたい |
| A.H | （記述なし） | ・多少は大人になり，社会人に成長する |
| M.H | ・保育者を目指す学生として，授業や実習を通して成長している | ・不安ながらも，自分で決めた道に向かって一所懸命に１つ１つのことに真面目に取り組んでいたら良いです |
| K.M | ・保育者になるために近づけているはず | ・子どもたちとの対応の仕方，言葉遣いやピアノでの弾き歌い<br>・自然な笑顔<br>・保育の知識・技術を身につけられている |
| A.M | ・知識・技術が身について，どの園でも採用したくなるような人柄になってる | ・子どもに好かれる保育者になっている<br>・子ども一人ひとりに合わせた関わり方，保育を考えられるようになっている |
| A.M | ・今よりも，もっとちゃんとした人間になって行き先を明確にする。<br>・人としてもっと欲を出せるようにする | ・一人前の社会人になっていたい |
| K.M | ・今よりも大人に近づくとともに保育者としても成長していて，日々努力している | ・社会人として社会に胸を張って出られるようなマナー，人間性，専門知識を身につけていると思う |
| Y.M | ・保育の事を学んだ上で自分から行動できてピアノや絵本などをすぐにできるようにする | ・自分の保育観が少しは見えてきて，そのような保育ができるようになっている |
| M.Y | ・１年前よりももっと保育のことに興味を持ち，知識も増えて，仕事をすることに対して意欲がわいていると思う | ・今よりも働くことに対して意識が高くなっていて，社会人のマナーを守れているといいなと思います |
| J.Y | ・就職活動が始まるので，しっかりする | ・保育者としての技術や知識も上達して子どもと関わっている |
| R.W | ・考え方や視野が今よりずっと深くなっていてほしい | ・がんばる（イラストあり） |

※キャリアデザインシートの質問項目「「１年後，自分はどのような成長をとげているか，想像して書いてみましょう」に着目し，入学時と１年後で記述内容にどのような変容がみられたか比較した。




**資料２　１年間の行動計画シート**

ジョブサポーターより協力を得て，履歴書作成や面接に臨む姿勢に関する講義があった（2015年６月22日）。

クルンボルツの理論プランド・ハプン・スタンス・セオリー（計画された偶然理論・機会遭遇理論）を引用し，以下の説明があった。

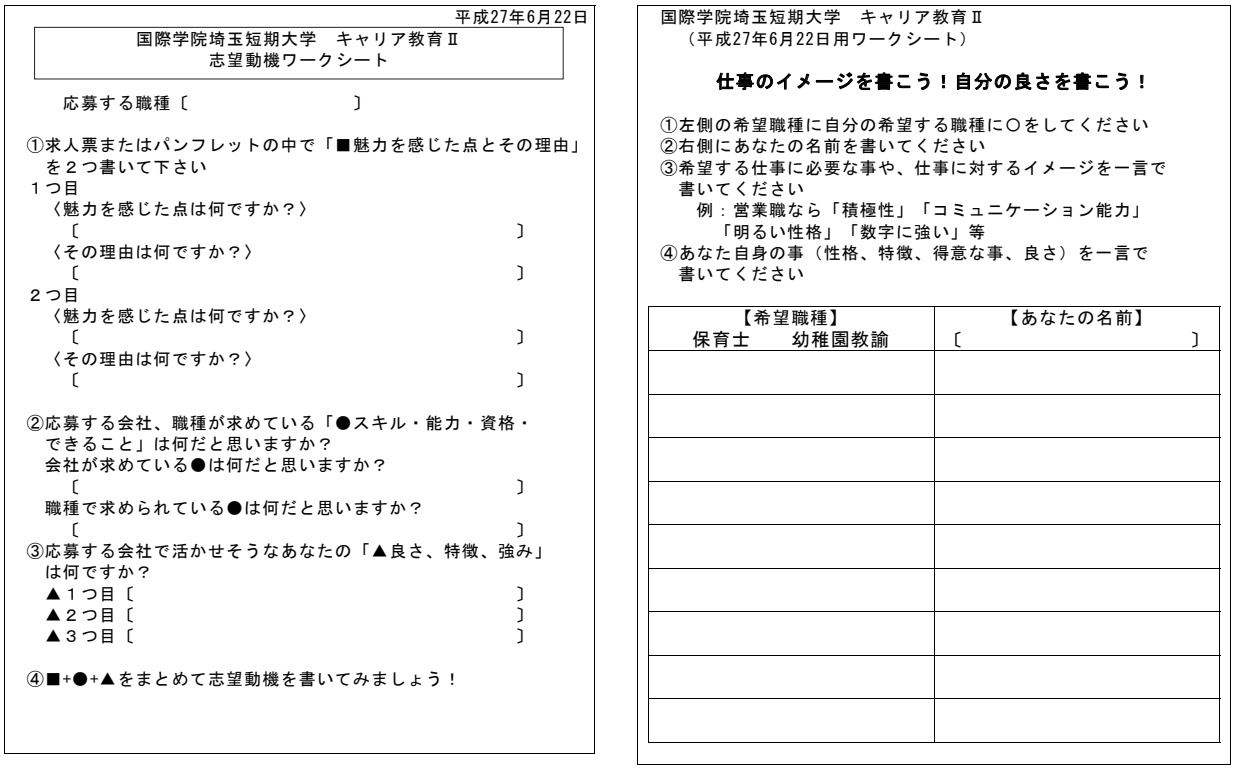
「偶然の出来事は人のキャリアに大きな影響を及ぼし，かつ望ましいものである。予期せぬ出来事をキャリアの機会と捉えることができるときの，その出来事を『プランドハプンスタンス』という」

これを講師は「偶然を味方につける」と言い換え，就職活動では，①好奇心，②持続性，③柔軟性，④楽観性，⑤冒険心の５つのスキルが必要と指摘した。すなわち，好奇心とは「新しい学びの機会を模索せよ」，持続性とは「失敗に負けずに努力し続けよ」，柔軟性とは，「姿勢や状況を変えよ」，楽観性とは，「新しい機会は必ずやってきて，それを自分のものにすることができると考えよ」，冒険心とは，「結果がどうなるか見えない場合でも行動を起こせ」という意味である。

また，履歴書の作成については，始めに「志望動機ワークシート」（資料３）等を用いて，希望する職種のイメージや自分の良さ，求人票から読み取れる魅力，会社や職種が求めていることを考えるよう助言があった。

（２）「埼玉がいいね！保育士就職応援事業」

埼玉県では，より多くの保育士が県内の保育所等で活躍できることを目的として，埼玉県福祉部少子政策課による「埼玉がいいね！保育士就職応援事業」を実施している。この事業は，指定保育士養成施設の学生や保育士試験合格者に埼玉県内保育所における保育の特色や魅力を伝えるものである。県内保育所２園で１チームとなり（通称「保育所PRキャラバン隊」），県



平成27年6月22日

国際学院埼玉短期大学　キャリア教育Ⅱ
志望動機ワークシート

応募する職種〔　　〕

①求人票またはパンフレットの中で「■魅力を感じた点とその理由」を２つ書いて下さい
１つ目
〈魅力を感じた点は何ですか？〉
〔　　〕
〈その理由は何ですか？〉
〔　　〕
２つ目
〈魅力を感じた点は何ですか？〉
〔　　〕
〈その理由は何ですか？〉
〔　　〕

②応募する会社、職種が求めている「●スキル・能力・資格・できること」は何だと思いますか？
会社が求めている●は何だと思いますか？
〔　　〕
職種で求められている●は何だと思いますか？
〔　　〕
③応募する会社で活かせそうなあなたの「▲良さ、特徴、強み」は何ですか？
▲１つ目〔　　〕
▲２つ目〔　　〕
▲３つ目〔　　〕

④■+●+▲をまとめて志望動機を書いてみましょう！

国際学院埼玉短期大学　キャリア教育Ⅱ
（平成27年6月22日用ワークシート）

**仕事のイメージを書こう！自分の良さを書こう！**

①左側の希望職種に自分の希望する職種に○をしてください
②右側にあなたの名前を書いてください
③希望する仕事に必要な事や、仕事に対するイメージを一言で書いてください
例：営業職なら「積極性」「コミュニケーション能力」「明るい性格」「数字に強い」等
④あなた自身の事（性格、特徴、得意な事、良さ）を一言で書いてください

| 【希望職種】<br>保育士　　幼稚園教諭 | 【あなたの名前】<br>〔　　〕 |
|---|---|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

**資料３　ワークシート（学卒ジョブサポーター作成）**

内保育士養成校を訪問し，保育所の特色や保育所保育士の魅力について紹介する。なお，保育所PRキャラバン隊は埼玉県内の保育所の取り組みを紹介するものであり，個別の保育所の求人活動を目的としたものではない。本学では，行田市および草加市の保育所から編成される保育所PRキャラバン隊が派遣された。保護者と共に子どもを育てる取り組み（１日保育士体験）が紹介され，保育所における保護者支援について，学生は理解を深めることができた。また，保護者支援に加えて保育士の仕事内容について，主任を務める現役保育士（本学卒業生）より説明があった。

### ６．面接試験の受け方について

2015年10月６日に「面接試験の受け方」というテーマで授業を行った。授業担当者は，各クラスの担任教員である。以下，授業内容について記述する。

就職試験における面接について具体的なイメージを持つために，DVD「自信がつく！採用面接必勝ソフト」を視聴した。この視聴覚教材は，平成21年度文部科学省「学生支援推進プログラム選定事業」として，本学が取り組んだ「総合理解力の向上を図る就職支援プログラム」で作成されたものである。実際に本学の学生が採用されている幼稚園・保育園・企業の協力を得て面接の現場を再現した。このDVDは，自分の言葉で質問に答えること，間合いを見計らって話しをまとめること，面接官に自分がどのように見えているのか想像しながら面接の練習を行うことで，自分らしさの備わった面接対応力を身につけることを目的としている。

面接は質問に対する受け答えから，表情や身だしなみなど，見た目の印象も評価に含まれている。同DVDでは，まず始めに，頭髪や服装，表情，姿勢，入室時の挨拶について，良い例・悪い例を具体的に示している。次に実際に面接に携わる保育現場の先生に協力を得て，実演形式で質問事項を収録した。質問内容は保育士，幼稚園教諭に分類し，**表４**に示した。保育士の受験を想定した面接では，「本園に入って，どんな保育がしたいですか」や「本園に入られたら何歳児を担当したいですか」といった質問があり，幼稚園教諭を想定した面接では，「あなたは保育士ではなく，何故，幼稚園教諭の方を目指していらっしゃるのですか」や「幼稚園の先生になれたとしたら，どんな先生にあなたはなりたいですか」といった質問がある。このような視聴覚教材を通して学生は面接試験について，実践的に練習することができる。

**表４　視聴覚教材「自信がつく!面接必勝ソフト」に収録されている質問内容**

| 保育士の受験を想定した面接の質問内容 | 受答え時間 |
|---|---|
| 1．本園を志望した動機をお聞かせ下さい | 1分 |
| 2．本園に入って，どんな保育がしたいですか | 30秒 |
| 3．本園を見学しての印象をお聞かせ下さい | 30秒 |
| 4．本園の施設設備についてどう思いますか | 15秒 |
| 5．本園に入られたら何歳児を担当したいですか | 15秒 |
| 6．最近の子どもに関するニュースで，興味を持ったものを教えて下さい | 30秒 |
| 7．あなたが保育士になりたいと思ったのは何故ですか，その理由をお聞かせ下さい | 30秒 |
| 8．ピアノはどれくらい弾けますか | 15秒 |
| 9．子どものどんな所が好きですか | 30秒 |
| 10. 簡単で結構ですので，自己PRをお願い致します | 1分 |
| 11. あなたの長所または短所を教えて下さい | 1分 |
| 12. あなたの尊敬する人は誰ですか，また，その理由を教えて下さい | 30秒 |
| 13. この仕事で大切だと思うことは何ですか | 30秒 |
| 14. 人間関係で大事にしていることは何ですか | 30秒 |
| 15. あなたはご家庭でどのように過ごされていますか | 30秒 |
| 16. あなたのお家から園までの通勤時間と経路を教えて下さい | 30秒 |
| 17. 実習に行った時のご様子を聞きたいと思います。実習に行った時，大変だったことはどんなことでしょう，お聞かせ下さい | 30秒 |
| 18. 実習で印象に残ったことを教えて下さい | 30秒 |
| 19. 実習を通じて得られたものは何ですか，教えて下さい | 30秒 |
| 20. 公立ではなく私立を選んだ理由を教えて下さい | 30秒 |
| 21. 同じ法人の別の保育園に配属になっても大丈夫ですか | 30秒 |
| 22. あなた自身，人間が最も美しいと思える時はどんな時ですか | 1分 |
| **幼稚園教諭の受験を想定した面接の質問内容** | **受答え時間** |
| 1．あなたは保育士ではなく，何故，幼稚園教諭の方を目指していらっしゃるのですか | 1分 |
| 2．幼稚園の先生になれたとしたら，どんな先生になりたいですか | 1分 |
| 3．あなたは，幼稚園の先生以外でなりたい職業はありますか | 30秒 |
| 4．あなたの家族構成とそれぞれの家族についてお話し下さい | 30秒 |
| 5．夕ご飯を，あなたは家族と一緒に摂っていらっしゃいますか，それとも一人で摂っていらっしゃいますか | 15秒 |
| 6．あなたの休日の過ごし方を教えて下さい | 1分 |
| 7．あなたが今までにかかった病気はありますか，また，今もお持ちでしたら，どのように健康に気をつけていますか | 30秒 |
| 8．あなたのストレスの発散法を教えて下さい | 30秒 |
| 9．悩んだ時に，あなたは誰に相談されますか | 30秒 |
| 10. あなたにとって絶対になくてはならないものは何ですか，教えて下さい | 30秒 |
| 11. 私も様々なスポーツ，運動を経験してきました。たくさん様々な良いことも学びました。あなたが今までの人生の中で，部活・スポーツ・運動にどんな気持ちで打ち込んで来たか教えて下さい | 1分 |
| 12. 私は本を読むのが大好きなのですが，最近あなたが読んだ本の中で，どんな本に感銘を受けましたか。また，理由をできたら教えて下さい | 30秒 |
| 13. 二十歳ですよね。今まで様々な人に影響を受け育てられてきたと思いますが，今のあなたが一番影響を受けた方はどんな方かな。お伺いしたいです | 30秒 |

※受答え時間はあくまでも参考時間

**表５　「キャリア教育Ⅱ」の評価基準**

| セクション | 授業数 | 項目 | 評価 | | | | | 評価対象 | 素点 | 点数配分 | 評価点 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | S | A | B | C | D | | | | |
| | | | 4 | 3.5 | 3 | 2.5 | 2～0 | | | | |
| 1 | 4 | １年間のキャリア形成の見直し<br>２年生としてのキャリア形成<br>学修計画の作成<br>上級学年としての在り方 | オリエンテーション期間，リーダーシップを発揮し，積極的に参加した | 積極的に参加し，キャリア形成をなそうとする態度であった | やや消極的な面が見られ，主体的な行動は少なかった | 消極的な態度が目立ち，２年間のキャリア形成も不十分であった | 欠席が多く，２年間のキャリア形成はほとんどできなかった | 態度 | | × 4 | /16 |
| | | | １年間の心構えがしっかり記述できており，今後の学校生活に期待が持てる内容であった | １年間の心構えが記述され，内容も十分であった | 内容がやや不十分であり，記述量も少なかった | 提出期限が守られず，レポート内容も不十分であった | レポートが提出されなかった | レポート | | × 2 | / 8 |
| 2 | 2 | 進路決定までの流れ<br>求人票と必要書類 | 自身の進路決定までの見通しを持ち，課題も明確に記述されていた | 自身の進路決定までの見通しを記述できていた | 自身の進路決定までの見通しに不十分な点が見られた | 自身の進路決定までの見通しに不十分な点が多く見られた | レポートが提出されなかった | レポート | | × 1 | / 4 |
| 4 | 2 | ビジネスマナーⅠ・Ⅱ | マナーについて授業を踏まえ，自身の課題についても言及されていた | 授業内容を踏まえ，マナーについて正しい内容を記述できていた | 授業の理解が不十分な点がある内容のレポートであった | 内容が浅く，授業の内容を踏まえられていなかった | レポートが提出されなかった | レポート | | × 1 | / 4 |
| 5 | 2 | 履歴書の作成Ⅰ・Ⅱ | 履歴書作成に向けて真摯に取り組み，内容も優れていた | 履歴書作成に向けて真摯に取り組んでいた。 | 履歴書作成において不十分な記述が見られた | 履歴書作成において不十分な記述が多く，提出も遅かった | 履歴書が記述できない，提出が守られなかった | 履歴書 | | × 3 | /12 |
| 6 | 2 | 面接試験の受け方<br>実技試験の受け方 | 受験報告書を丁寧に記述し，内容も後輩の役に立つように配慮されていた | 受験報告書を丁寧に記述できていた | 受験報告書に不十分な記述がいくつか見られた | 受験報告書に不十分な記述が多く見られた | 受験報告書が提出されなかった | 受験報告書 | | × 2 | / 8 |
| 7 | 2 | 就職活動の振り返り<br>進路先決定後の過ごし方 | 自身の就職活動をよく振り返り，今後の課題についてもよく記述されていた | 自身の就職活動を振り返り，今後の課題が記述されていた | 就職活動の振り返りもしくは今後の課題の記述いずれかに不十分な点があった | 就職活動の振り返り，今後の課題の記述両方に不十分な点があった | レポートが提出されなかった | レポート | | × 1 | / 4 |
| 9 | 1 | 社会人としての使命感 | 社会人としての使命感ついて授業を踏まえ，自身の課題についても言及されていた | 授業内容を踏まえ，社会人としての使命感について相応しい内容を記述できていた | 授業の理解が不十分な点がある内容のレポートであった | 内容が浅く，授業の内容を踏まえられていなかった | レポートが提出されなかった | レポート | | × 1 | / 4 |
| 全体 | - | 学校生活全体の態度<br>キャリア形成 | キャリア実現のために１年間真面目に活動し，他の学生の模範となる態度であった | キャリア実現のために１年間真面目に活動し，自身を高めていた | 時に消極的な態度や行動が見られ，キャリア形成に不十分な点があった | 多くの場面において消極的であり，キャリア形成に多くの課題が残った | キャリア実現のための行動がほとんど見られなかった | 態度 | | × 6 | /24 |
| 全体 | - | 礼儀<br>身だしなみ | 社会人に求められる礼儀・身だしなみを日々実践し，他の学生の模範となる態度であった | 社会人に求められる礼儀・身だしなみを日々実践していた | 礼儀・身だしなみに不十分な点が見られたが，指導をすることによって改善が見られた | 礼儀・身だしなみに不十分な点が見られ，指導によっても改善がなかなか見られなかった | 礼儀・身だしなみに不十分な点が多く見られ，指導によっても改善がなかった | 態度 | | × 4 | /16 |
| 合計 | 90点以上を「S」，80点以上を「A」，70点以上を「B」，60点以上を「C」，59点以下を「D」評価とし，「S」，「A」，「B」，「C」評価を合格とする。 | | | | | | | | | | /100 |

## Ⅳ.「キャリア教育Ⅱ」の評価基準の作成

「キャリア教育Ⅱ」の評価基準は，ルーブリックを参考に作成された。ルーブリックとは，「パフォーマンス（作品や実演）の質を評価するために用いられる評価基準のことであり，一つ以上の基準（次元）とそれについての数値的尺度，および，尺度の中身を説明する記述語からなる」（松下，2012，p.82）とされている[5)]。

「キャリア教育Ⅰ」の授業評価でも，このルーブリック評価による評価基準を作成し，その評価の妥当性について検討を試みた[6)]。その結果を踏まえ，「キャリア教育Ⅱ」においても同様の評価基準を作成した。作成した評価基準は**表５**に示すとおりである。

第一に，授業項目ごとに評価基準を作成した。評価対象は，項目の評価にふさわしいと考えられる態度とレポートとした。次に，「キャリア教育Ⅱ」で学習した内容を日常の学校生活や就職活動に応用できているかどうかを評価するため，全体の項目として「学校生活全体の態度・キャリア形成」と「礼儀・身だしなみ」の評価項目を設定し，評価の対象とした。

それぞれの評価項目について，Sを４点，Aを3.5点，Bを３点，Cを2.5点，Dを０-２点として得点化した。これらの項目について，その内容の重要性に応じて，重み付けを行い，最終的な評価得点を算出できるように評価表を作成した。各項目の合計得点は本学の学則第37条に準じ，90点以上を「S」，80点以上を「A」，70点以上を「B」，60点以上を「C」，59点以下を「D」評価とし，S，A，B，C評価を合格とする。

## Ⅴ．まとめ

本研究では，保育者養成系の短期大学２年次におけるキャリア教育のカリキュラム開発と実践，評価基準の作成過程について報告した。教養科目として必修化されたキャリア教育の実施にあたり，１年次の「キャリア教育Ⅰ」の内容を踏まえ，２年次における「キャリア教育Ⅱ」のカリキュラム開発の手続きと内容を示した。その結果,「キャリア教育Ⅰ」「キャリア教育Ⅱ」のカリキュラム開発が完成し，入学から卒業まで学生のキャリア形成を支援・指導するための枠組みが完成したと言える。

今後の課題は,以下の３点と考えられる。第一に,「キャリア教育Ⅱ」のカリキュラム内容について，PDCAサイクルによる改善を行っていく必要がある。実践を通じて不十分な点を明らかにし，授業内容の精査を行っていくことが必要である。第二に,「キャリア教育Ⅱ」の教育効果を測定するツールを開発することである。「キャリア教育Ⅱ」を通して，学生がどのような知識やスキルをどの程度獲得できたかについて明らかにしていくことは，今後の授業改善にも大きく寄与しうると考えられる。第三に，キャリア教育の評価基準についてもその信頼性と妥当性を検討していくことが必要であると考えられる。「キャリア教育Ⅰ」「キャリア教育Ⅱ」の評価とGPAの関連性などを検討することによって，より正確なキャリア教育の評価が可能になると考えられる。

2014年度から必修化された２年間のキャリア教育が2015年度にて,一つのサイクルが終了することとなる。今後もキャリア教育の授業改善を試みることを通じて，学生のキャリアに関する諸能力の向上に資する教育を展開していきたいと考える。

## Ⅵ．引用・参考文献


1）文部科学省：今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について．ぎょうせい．2011年
2）同上
3）森下　剛・古木竜太：保育者養成系短期大学におけるキャリア教育のカリキュラム開発・実践・評価に関する研究.国際学院埼玉短期大学研究紀要．第36号，11－20．2015年
4）同上
5）松下佳代：パフォーマンス評価による学習の質の評価：学習評価の構図の分析にもとづいて．京都大学高等教育研究．第18号．75－114．2012年
6）森下剛・古木竜太・西田咲希：保育者養成課程におけるキャリア教育の試み．全国保育士養成協議会第55回研究大会発表資料．2015年
7）大橋伸次，中平浩介，塩原明世，藤井茂，古俣智江：就職指導からキャリア教育への移行について．国際学院埼玉短期大学研究紀要．第33号．１－８．2012年
8）国際学院埼玉短期大学平成23～25年度自己点検・評価報告書

**調査・資料**

# 産官学連携の報告
# 「2014ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」応援がもたらしたもの

## Report of Consortium　to support
## 2014Le Tour de France SAITAMA CRITERIUM

塩　原　明　世・古　俣　智　江・武　藤　　隆・野　原　健　吾

平成26年度，さいたま市のイベントである『ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム』応援メニューの考案を，産官学連携で実施した。

ツール・ド・フランスが100回大会を迎えた2013年より，さいたま新都心周辺を舞台に開催されている。大会を盛り上げることを目的に，大学生の応援事業に参加した。本学とさいたま市，生活協同組合『コープみらい』が本事業で協働した。健康栄養学科の学生19名が，クリテリウムをイメージさせるメニューを考案し，さいたま市のイベントやホームページで紹介された。この活動により，学生の自己効力感が向上し，その後の学生生活に弾みをつけた。アクティブラーニングのモデルになればと考えている。

キーワード：産官学連携，メニュー開発，さいたまクリテリウム

平成26年度，本学ではさいたま市のイベントである『ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム』を応援するメニューの考案を，産官学連携で実施したので報告する。

### Ⅰ．『ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム』とは

本学が位置するさいたま市では，2013年より，フランスで行われる世界最高峰のサイクルロードレース『ツール・ド・フランス』の名を冠した自転車競技イベント，『ツール･ド･フランスさいたまクリテリウム』を開催している。

1．クリテリウムとは

他の交通を遮断して街中に作られた短いコースを何度も周回する自転車ロードレースのことをいう。通常のロードレースと違い，観客の前を選手が複数回通過し，何度も応援できるのが特徴といわれている。平坦でコーナーのきついコース設定がされることが多い。

2．さいたまクリテリウム

毎年フランス本土で，時としてその近隣諸国で開催されてきた世界最大のサイクリングイベントである，ツール・ド・フランスが100回大会を迎えたことを記念し，フランス国外での自転車競技イベントにその名前を冠することを認め，2013年（第100回）大会の上位入賞選手と国内主要選手が集まり実施したのが始まりである。さいたま新都心周辺を舞台に開催されている。

その年の夏にツール・ド・フランスで激闘を展開した選手が来日すること，それと同時にツール・ド・フランスのエッセンスが持ち込まれ，日本に居ながらにしてその興奮と感動が味わえるのが本イベントの特徴である[1)]。

日本国内で『ツール・ド・フランス』の名を冠することができるのは，現在本イベントのみである。

このように，世界最高峰のブランドを獲得し，世界中に情報が発信されること業に参加できることは，学生にとってまたとない機会である。

例年，大会を盛り上げることを目的として，大学生の応援事業への参加が計画されてきた。平成26年度は，国際学院として参加ができないかの打診があり，健康栄養学科が応援メニューを提案する形で協力する運びとなった。

### Ⅱ．産官学共同事業について

『ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムを応援するメニューワーキンググループ』（以下本事業）

の主体は，さいたま市であり，都市戦略本部シティセールス部が窓口となった。さいたま市は，本学と2013年度より教育コラボレーションの提携を結んでおり，小学生の食育活動や，本学栄養教諭専攻学生の小学校における実践教育活動などで協力体制を敷いている。

同時に，さいたま市との間で協定を締結した，生活協同組合『コープみらい』が本事業の食材選択等で協力することとなった。

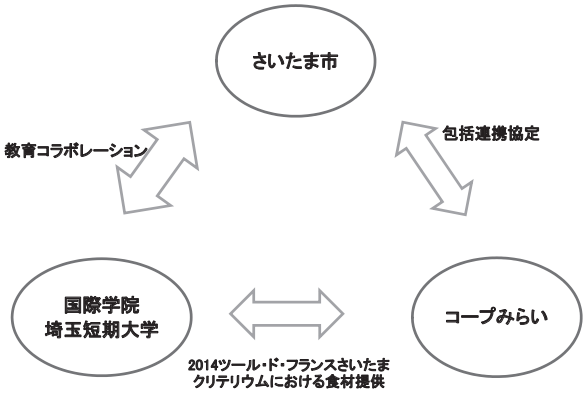



**図１　組織図**

## Ⅲ．本学の取り組み

本学の本事業への参加は，平成26年６月に打診があったことに始まる（表１）。

健康栄養学科への依頼が確定したところで，研修旅行・就職活動等で忙しい２年生を避け，１年生を対象に希望者を募ることとなった。その際，専攻の垣根なく交流ができることを期待し，栄養士専攻・調理師専攻いずれからも参加者を募ることとした。最終的に19名（栄養士専攻16名，調理師専攻３名）が活動に参加することとなった。これに伴い，教員は学年付きの４名が担当することとなった。専攻の違う学生が時間を共有することに配慮し，ミーティングは主に昼休み，調理試作は放課後の時間を充てることとなった。

活動内容は，１．メニューの考案，２．さいたま市イベント「のびのびシティフェア」への参加，３．保育園給食の実施見学に分類できる。

初回のミーティングでは本活動グループの名称を募集し，満場一致で「KGスプリンタ」が採択された。

### １．メニューの考案

さいたまクリテリウムを身近に感じる取り組みの一つとして，フランスや自転車などさいたまクリテリウムの特徴を題材にした献立とレシピを作成し，市ホームページや，コープみらいを通じて積極的にPRすることで，食を通じたイベントの盛り上げに繋げることを目的とした。

レシピを作成するにあたり，以下の項目が共通事項として提示された。

①ツール・ド・フランス　さいたまクリテリウムを連想させるレシピであること。
②スーパーで日常的に買える，高価でない食材で調理できること。
③特別な調理器具を使わず調理できること。
④メイン，スープ（またはサラダ），デザートの３品程度で構成されていることが望ましい。

これらは活動の中核をなすものであり，学生自身の学びの中心となるものである。今回は，１年生がメニューを考えることになり基礎知識が十分でないことも鑑み，まず初めにフランスや提供するイベント，さいたま市の食材についての基礎知識を持つことから始めた。各々自主学習により情報を持ち寄り，全体を３つのグループに分け，グループディスカッションを通して「ツール･ド･フランス」,「クリテリウム」,「さいたま市」をアピールできる食材などについて情報を共有した。まとめられた情報は，ミーティングの最後に全体の前で媒体を使って発表した。時間的な制約のある中で，２～３回のミーティングで基礎となる情報を整理する必要があり，同時に自分たちのメニューを決定しなければならなかった。情報を元に，メニュー案を持ち寄り（できればレシピと共に），主菜，スープ，副菜，デザートなど，グループ毎に候補を決定した。

続いて，これまで調理の経験が少ない学生，献立を作成したことの無い学生がほとんどであることを考慮し，メニュー決定までに食材料の計量法，調理法などを確認しながら数回の試作を繰り返し行うこととした。同時に，栄養価も表示することを目標に，まだ開いたことのない食品成分表から成分を算出する方法を学び，自分たちの力でメニューの栄養価を計算した。

これらの課題は，全て日常の学習課題に加えて彼らが担ってきたものであり，このプログラムへのモチベーションが高くなければ実施することができなかった。

最終的に，提供するメニューは，図２にある７品目となった。

８月28日，最後の試作会が行われた。レシピに載せる写真の撮影会も同時に行った。暑い夏の最中，本学の調理室は耐震工事のために使用することが出来ず，

**表１　KGスプリンタ活動記録**

| | 日　時 | 内　容 |
|---|---|---|
| （1） | 6 /15 | 本事業の概要説明（事務より） |
| 1 | 6 /23<br>12:20－12:40 | 第１回ミーティング<br>本事業参加希望学生への概要説明<br>次回までの課題提示 |
| （2） | 6 /24<br>16:30－17:30 | さいたま市との本事業第１回打ち合わせ |
| 2 | 6 /30<br>11:30－12:50 | 第２回ミーティング<br>「ツール・ド・フランス」について知ろう! |
| （3） | 7 / 1<br>10:30－12:30 | さいたま市シティセールス部と実務担当者の打ち合わせ |
| 3 | 7 / 3<br>12:10－12:50 | メニュー会議<br>学長先生激励挨拶 |
| 4 | 7 / 7<br>12:10－12:50 | メニュー会議 |
| 5 | 7 /14<br>12:10－12:50 | メニュー会議 |
| 6 | 7 /17<br>16:30－19:30 | 第１回試作 |
| （4） | 7 /22<br>14:30－17:00 | コープ施設下見 |
| 7 | 7 /24<br>16:30－19:30 | 第２回試作 |
| 8 | 7 /31<br>15:30－16:00 | 第３回ミーティング<br>連絡事項（コンセプトの確認，次回への課題） |
| 9 | 8 / 6<br>12:00－17:00 | 第３回試作 |
| 10 | 8 / 8<br>09:00－12:00 | 味の素ライブラリーにて文献調査 |
| 11 | 8 /18<br>09:30－16:00 | 第４回試作 |
| （5） | 8 /18<br>11:30－14:00 | さいたま市，コープみらいとの打ち合わせ |
| （6） | 8 /22<br>17:30－18:00 | メニュー打ち合わせ |
| （7） | 8 /25 | 経過報告，調理師教員と調整 |
| 12 | 8 /28<br>9 :30－16:00 | 第５回試作，写真撮影会 |
| （8） | 8 /28<br>16:00－17:30 | さいたま市，コープみらいとの打ち合わせ<br>今後の事業計画 |
| （9） | 9 / 1<br>13:20－15:00 | さいたま市打ち合わせ |
| (10) | 9 / 8<br>13:00－14:00 | コープみらい打ち合わせ<br>（親子クッキング教室について） |
| 13 | 9 /11<br>15:00－16:00 | 第４回ミーティング<br>「のびのびシティフェア」直前打ち合わせ |
| (11) | 9 /11<br>16:30 | さいたま市打ち合わせ<br>（献立構成打ち合わせ） |
| (12) | 9 /18<br>17:00 | さいたま市打ち合わせ<br>（献立データ受け渡し） |
| (13) | 9 /25<br>14:00－16:00 | さいたま市打ち合わせ<br>（「のびのびシティフェア」スライド打ち合わせ） |
| 14 | 9 /28<br>14:00－16:00 | 「のびのびシティフェア」参加 |
| (14) | メール | さいたま市打ち合わせ<br>保育園給食の見学に関する打ち合わせ |
| 15 | 10/ 9<br>11:00－13:00 | 保育園給食の見学 |

（　）の付いた項目は,担当教員のみの打ち合わせ。

メニューリスト
1　チキンソテーラタトゥイユ添え
（Le poulet saute ratatouille）
ラタトゥイユの鶏肉煮込み
（Ratatouille qui contient un poulet）
2　ポトフー（Pot-au-feu d'une roue）
3　テリーヌde凱旋門
（Terrine de la voûte de triomphe）
4　パリブレスト・ア・ラ・さいたま
（Paris-Brest à la Saitama）
5　アッシュパルマンティエ
（トマト風味，オニオン風味）
（Hacher Parmentier）
6　オニオン車輪スープ
（Tournez soupe d'un oignon）
7　ミモザサラダ（Salade du mimosa）
8　ブランマンジェ・デ・クリテリウム
（Le blanc-manger de Critérium）

**図２　決定したレシピ**

協働したコープみらいの調理室を借りての実施であった。参加メンバーの一体感が高まり，グループの枠を超えて協力し合い，お互いの試作の意見交換が出来るようになった。単に味付だけではなく，食感，盛り付けにも意見が出るようになった。わずか２か月余りの交流，試作であったが，濃密な時間を共にした仲間という意識が高かった。

２．さいたま市イベント「のびのびシティフェア」への参加

クリテリウム本番が近付いた９月28日，さいたま市のイベントが，東京駅丸の内南口駅前『KITTE　丸の内』のイベントスペースで開催された。このイベントの中で，メニューについて発表の機会を得た。

**図３　写真撮影が終わり，味付けや盛り付けについて意見を交換し合うメンバー**

時間の枠は１時間，予め用意されたスライドショーに併せて行われた。当初数名の発表者を想定していたが，出来るだけ多くのメンバーに参加してもらおうということから，全員がイベントスペースに並び，トークショー形式で実施された。

**メニューについて説明をするメンバー**
**図４　「のびのびシティーさいたま」イベント参加の様子**

発表前の最終確認ではいつになく真剣な面持ちで司会者との打ち合わせが行われた。

日曜日の午後３時という時間から，人通りは多くはなかったものの，スペースを埋め尽くす人々の前で，多少緊張気味に自分たちのメニュー制作の苦労話や工夫点などを紹介した。会場の片隅に展示コーナーも設けられ，パネルやレシピカードを配布することが出来た。

会場には本学以外にも埼玉の西洋野菜を紹介するコーナーも設けられ，調理に深くかかわった学生たちの強い関心を惹いていた。手にてに頂戴した西洋野菜を持ち，会場を後にした。

３．保育園給食の実施見学

いよいよクリテリウムの本番を控えた10月９日，かねてよりさいたま市シティセールス部のご尽力で『クリテリウムお祝い給食』の実施を検討いただいた，エンゼル乳幼児園での給食を見学することになった。

エンゼル乳幼児園では食育に力を入れており，子どもたちは皆給食を好き嫌いなく，しっかりと食べる習慣を身につけている。

メニュー７品のうち,「ラタトゥイユの鶏肉煮込み」,「ミモザサラダ」,「オニオンスープ」がメニューとして選択された。保育園では，これらのメニューを更に

**図５　クリテリウムお祝い給食**

**図６　作成したメニューカード**

子ども向けにアレンジを加え，味付けも子ども好みにアレンジされていた。

今回は授業時間との重なりが見られたため，栄養教諭の教職課程を履修している学生６名の参加となった。

５歳児クラス園児の給食の準備から参加し，４人一組で作った食卓に１名ずつ短大生を配置した。給食が美味しいかどうか，どんな食品が含まれているのかなどを話しながら，楽しく給食の時間を過ごした。見学だけではなく，ラタトゥイユについては味付けの変更でどのように変わったのかを知るために，少しずつ試食もさせていただいた。最後に，園長先生，担当栄養士より今回の変更点，工夫点についての説明，質疑応答の時間が設けられた。

見学後の学生による感想には，「小さな子ども達でも食べ物に対する感謝の気持ちをしっかりと持っていたことに驚いた」，「幼児が三角食べを実践していることに驚いた」，「好き嫌いなく何でも食べる子どもたちを見て，食習慣を整えることの大切さを感じた」など，実際の子ども達の食に対する姿勢を見て，現場の栄養士の努力が大切であることを肌で感じた様子であった。

## Ⅳ．活動を通して得られたもの

今回の活動を通して，入学直後の学生がどのように成長することが出来るかを知ることを目的として，活動開始前（６/30）後（９/28）で自己の効力感にどの程度違いが出るか，質問紙を用いて調査した。質問は，**表２**に示す10項目50点満点とし，それぞれ１．全く違う，２．少し違う，３．どちらとも言えない，４．そう思う，５．全くその通りの５段階より，最も近いと思う物を選んでもらった。

**表２　自己効力感の測定項目**

| | |
|---|---|
| 1 | コミュニケーション能力がある |
| 2 | 栄養に関する知識を持っている |
| 3 | 調理に関する知識を持っている |
| 4 | 栄養に関する知識を探究する力を持っている |
| 5 | 献立をたてる能力がある |
| 6 | 調理技術を人に伝える能力がある |
| 7 | クリテリウムに関する情報を伝える能力がある |
| 8 | 対象者と信頼関係を築く能力がある |
| 9 | 対象者の行動を変容させる事が出来る |
| 10 | 栄養士・調理師としての職に従事できる |

その結果，効力感は平均で27.53から31.37へと有意に効力感が向上したことが明らかとなった（paired t-test $P$=0.0035, **表３**）。本質問項目の信頼性検討のため，活動前後でのCronbachの $\alpha$ 係数はそれぞれ0.75，0.99となった。$\alpha$ 係数の目安が0.8であることを考えると，内的一貫性については概ね妥当と推察された。

また，項目別では**図７**に示す通り，全ての項目で対象者の平均値が増加する結果となった。中でも「栄養に関する知識を持っている」，「献立をたてる能力がある」，「対象者の行動を変容させることが出来る」での向上が見られたことは，専門教育を行う初期の段階でこのような問題解決学習を体験することは，自己効力感を向上させ，このことがその後の学習への意欲を向上させるものと推察された。学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法は，今日アクティブラーニングとして推奨され，学修者が能動的に学修することによって，認知的，倫理的，社会的能力，教養，知識，経験を含めた汎用的能力の育成を図る[2)]とされている。今後，機会を捉えて地域社会との連携活動

**表３　活動前後の自己効力感対象者別得点**

| | 活動前 | 活動後 |
|---|---|---|
| A | 26 | 31 |
| B | 23 | 35 |
| C | 28 | 35 |
| D | 27 | 30 |
| E | 32 | 33 |
| F | 34 | 34 |
| G | 26 | 30 |
| H | 28 | 32 |
| I | 25 | 30 |
| J | 24 | 27 |
| K | 35 | 40 |
| L | 26 | 31 |
| M | 25 | 34 |
| N | 27 | 30 |
| O | 32 | 33 |
| P | 40 | 33 |
| Q | 38 | 37 |
| 平均 | 27.53 | 31.37 |
| t-test | 0.0035 | |

＊各項目５点，10項目合計50点満点

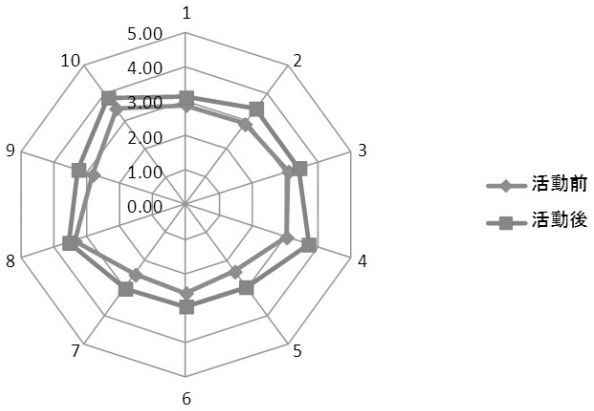



**図７　活動前後での自己効力感の項目別比較**

1　コミュニケーション能力がある
2　栄養に関する知識を持っている
3　調理に関する知識を持っている
4　栄養に関する知識を探究する力を持っている
5　献立をたてる能力がある
6　調理技術を人に伝える能力がある
7　クリテリウムに関する情報を伝える能力がある
8　対象者と信頼関係を築く能力がある
9　対象者の行動を変容させる事が出来る
10　栄養士・調理師としての職に従事できる

への学生の参加を企画する意味は大きいと考えられた。

一方で，活動の多くを支えるためのスタッフの時間的負担が大きいことも事実であり（表１），今後このような活動を取り入れて行く上で，事務との連携や活動の単位認定についてが課題と思われた。

## Ⅴ．謝辞

今回このような活動に関わるにあたり，さいたま市都市戦略本部シティセールス部主任竹垣和哉氏，朝倉千晶氏，生活協同組合コープみらい埼玉県本部渉外課長島葉子氏，エンゼル保育園園長和田明子先生に多大なるご理解とご支援を頂いた。この場を借りて謝辞を申し上げます。また，活動を支援いただいた国際クッキングスクール内堀恵子先生，イベント等に応援に駆け付けてくれた教職員の皆様に感謝申し上げます。

## Ⅵ．参考文献

１）『SAITAMA Criterium by Le Tour de France Official Guide Book』さいたま市.
２）文部科学省：『用語集』www.mext.go.jp/component/b_menu/.../1325048_3.pdf（2016.2.9）

# 研　究　業　績（2015年１月～12月）

## Ⅰ．学術論文

宮本智子

宮本智子：童謡の弾き歌いについての考察－短大生の意識調査より－. 国際学院埼玉短期大学研究紀要 2015；36： 1 － 9.

塩原明世

塩原明世, 藤井茂, 古俣智江, 野原健吾, 福田馨, 田中辰也, 本澤伸浩：特別治療食への真空調理の導入. 国際学院埼玉短期大学研究紀要 2015；36：81－86.

森下剛

森下剛, 古木竜太：保育者養成系短期大学におけるキャリア教育のカリキュラム開発・実践・評価に関する研究. 国際学院埼玉短期大学研究紀要 2015；36：11－20.

古木竜太

森下剛, 古木竜太：保育者養成系短期大学におけるキャリア教育のカリキュラム開発・実践・評価に関する研究. 国際学院埼玉短期大学研究紀要 2015；36：11－20.

野尻美枝

野尻美枝：幼稚園教育における指導案とその実践（１）－草創期を中心に－. 国際学院埼玉短期大学研究紀要2015；36：27－31.

藤井茂

塩原明世, 藤井茂, 古俣智江, 野原健吾, 福田馨, 田中辰也, 本澤伸浩：特別治療食への真空調理の導入. 国際学院埼玉短期大学研究紀要 2015；36：81-86.

古俣智江

塩原明世, 藤井茂, 古俣智江, 野原健吾, 福田馨, 田中辰也, 本澤伸浩：特別治療食への真空調理の導入. 国際学院埼玉短期大学研究紀要2015；36：81－86.

## Ⅱ．著書

アミール喜代子

アミール喜代子：寿司と栄養. 文部科学省受託事業平成25年度「成長分野等における中核的専門人養成の戦略的推進事業」職域プロジェクト「寿司専攻コースの制度構築及び実践」テキスト. 国際学院埼玉短期大学, さいたま市, 2015； 1 －21.

野尻美枝

野尻美枝：保育方法の基礎. 柴崎正行編著, わかば社, 東京, 2015；41－47.

野尻美枝：保育内容の基礎と演習. 柴崎正行編著, わかば社, 東京, 2015；74－75, 79, 138－146.

## Ⅲ．講演－学会発表

アミール喜代子

アミール喜代子：「産学協働による認定食育士制度の構築及び実践」. 文部科学省受託事業平成26年度「成長分野等における中核的専門人養成の戦略的推進事業」第３職域プロジェクト「食関連産業の成長と健全な食生活の普及を牽引する中核的専門人材の育成」フォーラム, TKP大手町カンファレンスセンター, 2015.

アミール喜代子：「新しい食品表示」研修会を終えて. 公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会会報No.55, 2015； 8 .

アミール喜代子：「日本人の食事摂取基準2015について」. さいたま市保健所管内給食研究会 さいたま市給研会報 平成26年度No.13, 2015；12－14.

宮本智子

宮本智子他：二期会日本歌曲研究会 2月例会 久保和範先生公開レッスン 曲目「かやの木山の」. 二期会日本歌曲研究会主催, 二期会第一スタジオ, 2015.

塩原明世

塩原明世：若年女性の食生活改善を促す教育の効果. 第62回日本栄養改善学会学術総会（福岡）, 2015；300.

森下剛

森下剛, 古木竜太, 西田咲希：保育者養成課程におけるキャリア教育の試み. 全国保育士養成協議会第54回研究大会（札幌）, 2015；313.

古木竜太

森下剛, 古木竜太, 西田咲希：保育者養成課程におけるキャリア教育の試み. 全国保育士養成協議会 第54回研究大会（札幌）, 2015；313.

秋山佳代

秋山佳代：栄養教育実習生の実習に対する現状と課題. 日本栄養改善学会（福岡）, 2015.

古俣智江

古俣智江：食育教室2015「親子で作る手作りお菓子~簡単団子の丸めと四角の寒天~」（講義）. 国際学院埼玉短期大学公開講座, さいたま市, 2015.

古俣智江：巻き寿司を中心とした献立（実習）. 国際学院埼玉短期大学公開講座, さいたま市, 2015.

## Ⅳ. 芸術・体育

## Ⅴ. 電子メディア

## Ⅵ. その他

大野博之

大野博之：「本学の教育の独自性と機能強化～KGブランドの確立～」. 国際学院創立記念行事国際学院埼玉短期大学FD・SD, 2015.

アミール喜代子

アミール喜代子：「寿司と栄養」文部科学省受託事業平成25年度「成長分野等における中核的専門人養成の戦略的推進事業」職域プロジェクト「寿司専攻コースの制度構築及び実践」検証講座. 国際学院埼玉短期大学, さいたま市, 2015.

アミール喜代子：「朝食と生体リズム」栄養・家政系 模擬授業. 埼玉県立所沢中央高等学校, 所沢市, 2015.

アミール喜代子：「栄養学」系統別説明会. 埼玉県立上尾鷹の台高等学校, 上尾市, 2015.

アミール喜代子：「低栄養」日常生活に身近な健康知識を身につけよう. 公益財団法人いきいき埼玉

大学連携講座けんかつオープンカレッジ, さいたま市, 2015.

塩原明世

塩原明世：「食生活見直し講座」. 放送大学埼玉学習センター, さいたま市, 2015.

塩原明世：「見て楽しい, 食べておいしい飾り巻きずし」. 国際学院埼玉短期大学公開講座, さいたま市, 2015.

秋山佳代

秋山佳代, 野原健吾, 柳田亜美：食育体験学習「フレンチトーストを作ろう」. 大宮小学校チャレンジスクール実行委員会, さいたま市, 2015.

秋山佳代：「日常生活に身近な健康知識を身につけよう」. 公益財団法人いきいき埼玉けんかつオープンカレッジ, 埼玉県, 2015.

秋山佳代：食育推進担当者研修会「学校における食育の推進について」. さいたま市教育委員会, さいたま市, 2015.

秋山佳代：新規採用学校栄養職員・栄養士研修「個別的相談指導の進め方」. さいたま市教育委員会, さいたま市, 2015.

秋山佳代：ファイトケミカルについて. 国際学院埼玉短期大学公開講座, さいたま市, 2015.

秋山佳代, 武藤隆, 福田馨, 柳田亜美：食育体験学習「クッキーを焼こう」. 大宮小学校チャレンジスクール実行委員会, さいたま市, 2015

秋山佳代：「介護食士講座３級」食品学, 公益社団法人全国調理職業訓練協会, さいたま市, 2015

野尻美枝

野尻美枝：「子どものより良い育ちにむけた関係機関とのネットワーク」（分科会助言者）. 第53回埼玉県保育研究大会, 埼玉県保育協議会, 春日部市, 2015.

野尻美枝：「これからの保育に必要なこと」（園内研修講師）. 社会福祉法人つぼみ会 大宮つぼみ保育園・もとの木保育園, さいたま市, 2015.

藤井茂

藤井茂：農業体験を通した農・商・学連携プロジェクト, さいたま市農業青年協議会, さいたま市農業政策課. パレスホテル大宮, 2015.

藤井茂：農業体験を通した農・商・学プロジェクト, JAさいたま. さいたま市農業青年協議会, 2015.

野原健吾

野原健吾：スズモフェア健康栄養専攻メニュー提供, 日刊水産タイムス, ４月23日号, 2015.

野原健吾：すしロボット展示「スズモフェア」, 週刊観光経済新聞, ４月11日発行, 2015.

野原健吾：メニュー提案の取り組み, 週刊観光経済新聞, ５月２日発行, 2015.

野原健吾：スズモフェア大学生によるメニュー提案, 日刊みなと新聞, ４月30日号, 2015.

野原健吾：メニュー提案事業に関する記事掲載, 日本食糧新聞, 2015年５月11日号, 2015.

野原健吾：メニュー提案事業に関する記事掲載, 日本コンビニエンスストア新聞, 2015年５月１日・15日合併号, 2015.

野原健吾：メニュー提案事業に関する記事掲載, 月刊低温流通, 2015年６月号, 2015.

野原健吾：メニュー提案事業に関する記事掲載, 月刊近代食堂, 2015年６月号, 2015.

野原健吾：特集フードスペシャリスト論授業の展開「本学におけるフードスペシャリスト論の授業について」. 公益社団法人日本フードスペシャリスト協会会報, No.54, 2015.

野原健吾：「ファイトケミカルを食べよう！」. 国際学院埼玉短期大学公開講座 講師, さいたま市, 2015.

福田馨

福田馨：農業体験を通じた農商学連携プロジェクト. さいたま市農業青年協議会, さいたま市農業政策課, パレスホテル大宮, 2015.

# Ⅶ. 賞

# 「国際学院埼玉短期大学研究紀要」投稿規程

## 1．投稿者の資格

投稿者は，本学に所属する教職員に限る。ただし，共著者はこの限りでないが，所属，肩書きを明記する。

## 2．投稿についての注意

(1) 原稿は和文または英文とし，その内容は未発表のものであり，かつ他誌に投稿中でないものとする。なお投稿原稿にはその旨を表明した誓約書（別添書式）を添付する。

(2) 投稿論文において，ヒトを対象とする研究はヘルシンキ宣言（1964年採択，2000年改訂；日本医師会訳），あるいは動物実験に関する研究は実験動物の飼養および保管等に関する基準（昭和55年３月総理府告示第６号），そのほか各研究施設で決められた研究倫理指針等を遵守したものでなければならない。なお投稿論文が上記研究に該当する場合は，その旨明記する。

(3) 投稿論文に関するすべての研究については，利益相反（Conflict of Interest，COI）状態の有無について記載しなければならない。無い場合は，「開示すべきCOIはない」という文言を本文最後の「文献」前に記載する。もし著者（共著者を含めて）にその懸念がある場合は，投稿前に編集委員会に申し出てその指示に従う。なおCOIに関する学内指針については別に定める。

(4) 他の出版物から図表等を引用する場合には，原典引用の出版社および著者の承諾書を添付する。

## 3．投稿原稿の種類

受けつける原稿は下記の通りである。

(1) 原著：独創的研究に基づく新知見を含む論文。原則として「はじめに」「目的」「方法」「結果」「考察」「終わりに」などの項目に分けて記載すること。

(2) 総説：ある主題についての総括的論述。

(3) 研究ノート：原著に比べて簡単で，若干の知見を含むもの。

(4) 報告：ケーススタディー，フィールド調査など，学術的に貴重と思われる例についての報告。

(5) 調査資料：調査または統計などをまとめたもの。

(6) その他の資料：上記の分類に該当しない重要な記録。

## 4．投稿原稿の記載方法

(1) 和文原稿は，常用漢字，現代かなづかいによりＡ４判の用紙（縦長）に40字，35行，12ポイントで横書きに印字し，上下左右30mmを目安として余白をとる。原則として，原著，総説は20枚以内（図，表を含む）とし，それ以外のものは原則として10枚以内（図，表を含む）とする。

英文原稿は，Ａ４判の用紙（縦長）に１行70-80字（半角），35行，12ポイントで印字し，上下左右30mmを目安として余白をとる。原則として，原著，総説は20枚以内（図，表を含む）とし，それ以外のものは原則として10枚以内（図，表を含む）とする。

原稿は，フロッピーディスク，CD，USBメモリーなどの電子媒体で提出する。従ってコンピュータソフト（Wordなど）で作成すること。

句読点，括弧は１字に相当する空間に書く。外国語は鮮明なローマ字で書き，数字はアラビア数字を用いる。単位符号はSI単位（cm, mm, mg, %, g/dl, 37℃・・・・）を用いる。略語を使用する時には初出時に正式名を記載する。外国の人名，書名等は原稿のまま，国名，地名，動物名等はカタカナ書きとする。さらに動物のラテン語学名，微生物の学名等はアンダーライン（イタリック体指定）をつける。

(2) 論文の記載は下記の順序による。

１）表紙に論文の種類（原著，研究ノートなど），和文題名，和文著者名，英文題名，ローマ字著者名（例：国際太郎Taro KOKUSAI），和文・英文所属機関名，連絡先（研究室名，内線番号，e-mailアドレス）を記入

する。また，５語以内の Key wordsを付ける。本学に所属していない著者は，著者名の右肩に＊印をつけ，脚注に所属機関名を記載する。

２）和文原稿は和文要旨，英文原稿は和文要旨と英文要旨を付ける。和文要旨は，400字以内，英文要旨は300語以内とする。

３）構成区文中の大見出し，中見出し，小見出しは，それぞれⅠ.，Ⅱ.，…，１.，２.，…，（１），（２），…，１），２），…，のように順次区別する。

４）本文（文献を含めて）には，通しの頁数を付ける。右欄外に図および表の挿入箇所を指定する。

５）図，表は，１枚ずつ別紙に書き，大きさを指定する。１枚ごとに裏面に 図１などの番号と第１著者名をエンピツで記入する。図，写真の説明は別紙にまとめて記載する。カラー印刷を希望する場合は，実費を徴収する。図や写真は印刷に耐えうる高解像度のものをフロッピーディスク，CD，USBメモリーなどメディアに保存し併せて提出する。メディアに保存が困難な図や写真はそのままで製版，印刷できるように鮮明に描いたものを提出する。

(3) 文献の記載法

１）記載の順序は出所順とし,本文中に右片括弧肩付き番号を付ける。

２）雑誌は，著者名（全員）：題名．雑誌名 発行西暦年号；巻数：初頁－終頁．の順に記載する。なお，著者が非常に多い場合には，数名の著者名を記した後，「ら」（英語の場合は「et al」を付し，以下の著者名を省略することができる。

（例１）Polonis VR, Anderson GR, Doyle D：TWo-dimensional polyacrylamide gel electrophoresis analysis of phosphorylated, membrane- 1 ocalized rat p21 protein.
Arch Biochem Biophys 1987；254：541-546.

（例２）森下剛：短期大学生の友人関係認知に関する一考察 －ストレスコーピング，就職不安との関連を中心に－．国際学院埼玉短期大学研究紀要 2009；30：39-44.

３）単行本は，和書，洋書共に著（編）者名：書名（巻数版数）．発行所，発行所の所在地，発行西暦年号；初頁－終頁．の順に記載する。

（例３）Koch FC, Hanke ME：Practical Methods in Biochemistry（2nd）. William Willkins, Baltimore, 1948；212-215.

（例４）細貝祐太郎，松本昌雄：新食品衛生学要接．医歯薬出版，東京，2002；36-98.

４）翻訳書は，訳者名（後に訳を付ける）：訳本名（原著者名を記載）．訳本発行所，発行所の所在地，発行西暦年号；初頁－終頁．の順に記載する。

（例５）越野正義訳：硝酸塩は本当に危険か（J.Lhirondel, J-L.Lhirondel著）．農村漁村文化協会，東京，2005；65-126.

５）学会発表は，発表者名（全員）：演題名．学会名（開催地），開催西暦年号；初頁．の順に記載する。

（例６）小林晴美，松本隆二，堀江正一，関和みゆき：LC/MS/MSによるハチミツ中のマクロライド系抗生物質の分析．第97回日本食品衛生学会（東京）2009；23.

６）電子メディア情報（インターネット）の引用の場合は，著者またはホームページ作成者・運営者名：「記事のタイトル名」URL（参照日）の順に記載する。

（例７）（社）環境情報科学センター：「環境家計簿，CEISホームページ」 http：//www.ceis.or.jp（参照2010.08.12）

（例８）文部科学省：「平成17年度大学図書館実態調査結果報告」http：//www.mext.go.jp./b_menu/toukei/001/05070501.htm（参照2008.02.12）

## ５．原稿の送付先

原稿はオリジナル１部とコピー２部，および図や写真のフロッピーディスク，CDなどのデータを下記宛に提出する。

〒330-8548　埼玉県さいたま市大宮区吉敷町 2 - 5
国際学院埼玉短期大学　図書館内
「国際学院埼玉短期大学研究紀要」編集委員会
TEL 048-641-7468　　FAX 048-641-7432

6．論文掲載の採否

投稿された原稿は研究紀要委員会が指名した複数の査読者によって慎重かつ厳正に審査される。査読結果については同委員会においてさらに審査し，採否が決定される。審査の結果，加筆や訂正等をお願いすることがある。審査の結果は投稿者に連絡される。

7．校正

著者による校正は初校のみとする。その際,字句の訂正のみにとどめ，組版に影響するような大幅な加筆や削除を行うことはできない。なお，表題，表現法，用語等は編集委員会で修正することがある。

8．著作権

本誌に記載された論文などの著作権は国際学院埼玉短期大学に帰属し，無断掲載してはならない。

昭和59年 6 月17日
昭和62年 7 月15日改定
平成 3 年 7 月17日改定
平成 6 年 6 月15日改定
平成 9 年 4 月 1 日改定
平成12年 5 月17日改定
平成15年12月11日改定
平成23年 2 月23日改定
平成24年 2 月22日改定

編集委員

中　村　礼　子

黒　須　泰　行

アミール喜代子

野　尻　美　枝

国際学院埼玉短期大学研究紀要　第37号

平成28年3月15日印刷

平成28年3月24日発行

編　集　国際学院埼玉短期大学研究紀要委員会

発行者　大　野　　博　之

発行所　学校法人 国際学院　国際学院埼玉短期大学

〒330-8548　埼玉県さいたま市大宮区吉敷町2-5

電話　048-641-7468　Fax　048-641-7432

http://sc.kgef.ac.jp/

印刷　望月印刷株式会社

BULLETIN
OF
KOKUSAI GAKUIN SAITAMA COLLEGE
No.37, March 2016

# CONTENTS

Originals
Current status and challenges for the practice of nutrition teacher trainees
…… Kayo AKIYAMA・Chie KOMATA・Kengo NOHARA・Kaori FUKUTA……1

Notes
About an unwilling student in the nursery teacher and kindergarten teacher training
…… Shinji OHASHI・Mie NOJIRI・Saki NISHIDA……7

A Study on Understanding Microsoft Office2010 Command of Junior College Students…… Kosuke NAKAHIRA……19

Studies on Standaraization in recipe of cookies　– The influence of sugar amount on Expansion of Cookies –
……Tomomi HIRAI・Shigeru FUJII・Ami YANAGIDA・Kengo NOHARA……25

Report
A Study of Curriculum Development, implementation and evaluation of Carrier　Education in the Training Course of Kindergarten Teachers, Child Care Workers (2)……Go MORISHITA・Ryuta FURUKI・Saki NISHIDA……31

Report of Consortium to support ～ 2014Le Tour de France SAITAMA CRITERIUM
……Akiyo SHIOHARA・Chie KOMATA・Takashi MUTHO・Kengo NOHARA……43

Ever Advancing
KOKUSAI GAKUIN